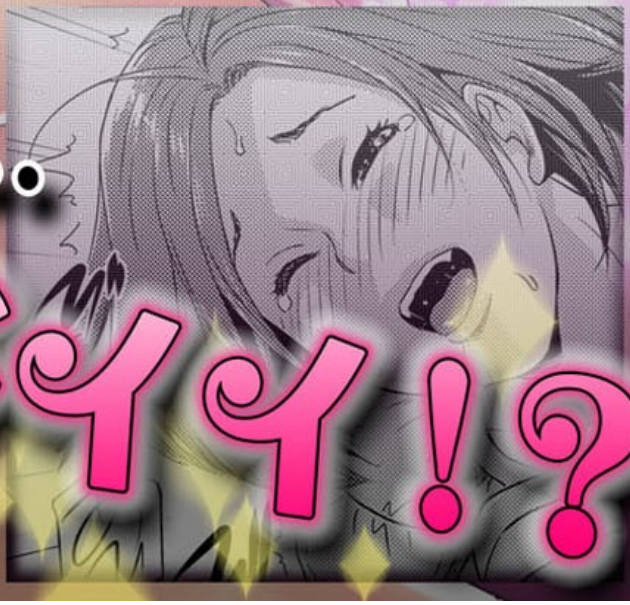
エロマンガ島

OKUMADE ZUPPORI UZUKU HITOZUMA

奥までずっぽり！疼く人妻

～あぁっ、こんなにイクの初めて…

市井時計



人妻の奥は…気持ちがイイ！？

完全版

暗闇の中
わたしは
出張中の夫と
スカイプを
する

00:17:01

恵子
何か変わりは
ないかい？

カメラOFF

オンライン通話中

チャット

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

あっ
あぁ
ああ
ああ
ああ

他の男に
激しく
犯されている
ことを
ああああっ！
イクイク
イッちゃうぅ！
ウヒヒ
良かったよ
奥さん
なぜ
こんなことに
なって
しまったの？
ああ
わたしは
どうすれば…

2週間前
松本恵子(けいこ)
26歳
専業主婦
松本邦夫(くにお)
28歳
銀行員
ねえ
邦夫さん
今夜は…
ごめん恵子
今日は
疲れてるんだ
昨日も
一昨日も
そう言った
じゃない
仕事が
きついんだよ
勘弁してくれよ
むー
結婚して
まだ2年も
経ってないのに
わたしたち
いつから
してないん
だろう
to be...

ピンポーン
松本さーん
お届けもの
でーす
はーい
ついに
買ってしまった
ネット
ショッピングで
こんな
恥ずかしい
ものを
だって
邦夫さんが
悪いのよ
構って
くれない
から
女性
の
性感グッズ販売
あ！これ
ウチの荷物じゃ
ない！
お隣さんの
だわ
まさか
わたしの荷物と
入れ違いに!?
どう
しよう…

305 土屋
コン
コン
はい？
あの…
隣りの
松本です
すみません
お宅の荷物が
間違って
ウチに…
代わりに
わたし宛の
荷物が届いて
いないで
しょうか？
ヌー
なに？
この人
なんだか
気味悪い…
確かこの
マンションの
オーナーの
息子さんよね
ああ…
そういえば…
まあ
上がって
くださいよ
平日の昼に
ラフな格好…
お勤め
してないの
かしら

ボリ
ボリ
えーと
どこに
やったかなぁ
うわあ
なにこれ
もちゃあ

男性の
一人暮らしの
におい
ゴミ
いつから
捨ててないの
かな
早く
ここから
出たい

ゴソ
ゴソ
あった
あった！
これだ！
すみません

ほら
コレでしょ
奥さん大まんぞく!!
敏感ファイブレ
わたしの
荷物
開けられてる!
うそ!
恥ずかしい!!
あっ
ありがとう
ございます!
じゃあこれで!
失礼します!
ぱしっ
奥さん
こんなの
買うって
ことは
旦那さんに
満足させて
貰ってないの
かなぁー?
え?

そっ！
そんなこと
あなたに関係…
ヤッパリ
そうなんだ！
オナニー用だ！
図星図星！
くふふ
寂しいんだね
奥さん
ボクが
慰めて
あげま
しょうか？
ちょっ！
大きい声を
出しますよっ！

ふーん
いいのかなあ？
奥さんが玩具を
買ったこと
ご近所の
言いふらし
ちゃいますよ
松本さんちの
奥さんは
欲求不満で
毎晩自分を
慰めてるって
え…？
ウチに親父に
教えたら
マンションの
理事会でも
噂になっちゃうかも
ウヒヒッ！
くさい
獣のような
息が
首筋にかかる
荒々しい
腕がわたしを
拘束する
はあ
はあ
うほお！
ノーブラ
なんですね
もにゅ
なんて
柔らかい
オッパイなんだ
もにゅ
やめて
ください！
桃尻
ああああ！
なによこれ
どうして
こんなことに！

あっ！
むにゅ
むにゅ
むにゅ
うひょお
真っ白
ムチムチだ！
手に吸い
付いてくるよ
クニッ
あっ！
つまんじゃ
ダメぇ！
クニッ
クニッ
むふふ
おいちい～
レロ
レロ
レロ
レロ
ああっ！
れろ
れろ
れろ

あんっ！
抵抗されると
萌えるよねぇ
エロいエロい
ああああ
乳首
感じちゃう！
やめて…
もう
やめてください
そうだ
こっちは
どうかなぁ

いやぁ！
やめてぇ！
あっ
ん〜〜〜
ツプ
あんっ！
ツプ
ああっ！
そこは！
ひくっ
ヌプ
ヌプ
手を
入れちゃ
ダメぇ！
ヌルリ
なんだ奥さん
濡れてるじゃ
ないですか
やっぱり
欲求不満
だったんだね
はぁ
はぁ
はぁ
ちがっ！

だってほら
こんなに
なってるし
あっ
クチュ
クチュ
あん
クチュ
クチュ
あっ

どうして
濡れちゃうの？
やだ
わたしったら
はしたない
うひょひょ
奥さん
大洪水だよ

大声で
助けを
呼ぼうか
いやダメ
そんなことしたら
マンション中の
噂になっちゃう
だいたい
男性の部屋に
のこのこ
上がり込んでる
時点で言い訳
できないし
バイブを見せて
配達ミスを
説明するの？
とんでもない！
それにこの人は
オーナーの
息子さんだし
ここに住み
づらくなるかも

奥さん
パンツも
脱いじゃおう
ルーツ

ふひー
イヤらしい
メスのニオイが
するぅ
あ
クリクリ
イヤ
そ
そこはっ！
あ
あ
あ
夫以外の
男に
まさか
こんなこと
クリクリ
クリクリ
レロレロ
レロレロ
だめぇ！

わたしには
夫がいるのに…
ダメなのに
久しぶりに
エッチなこと
されて
すごく
感じちゃう
はあ
はあ
身体が
熱い
快感が
こみ上げて
くる
こんな
気持ち
悪い男に
愛撫されて
気持ち
良くなっちゃ
ダメよぉ！
クリ
クリ
クリ
クリ
クリ
ワン
ワン
ワン

そうだ！
せっかく
買ったんだから
コレも
使わなくちゃね
え！
ほーら
こうして
スイッチ
オンッ！
ああああ
あ――!!
だめぇ！
敏感なところに
刺激が
強すぎちゃうよ
どこが
一番感じるのか
調べないとな
やっぱり
この硬くなってる
クリちゃんの
ところかなぁ
ああんっ！

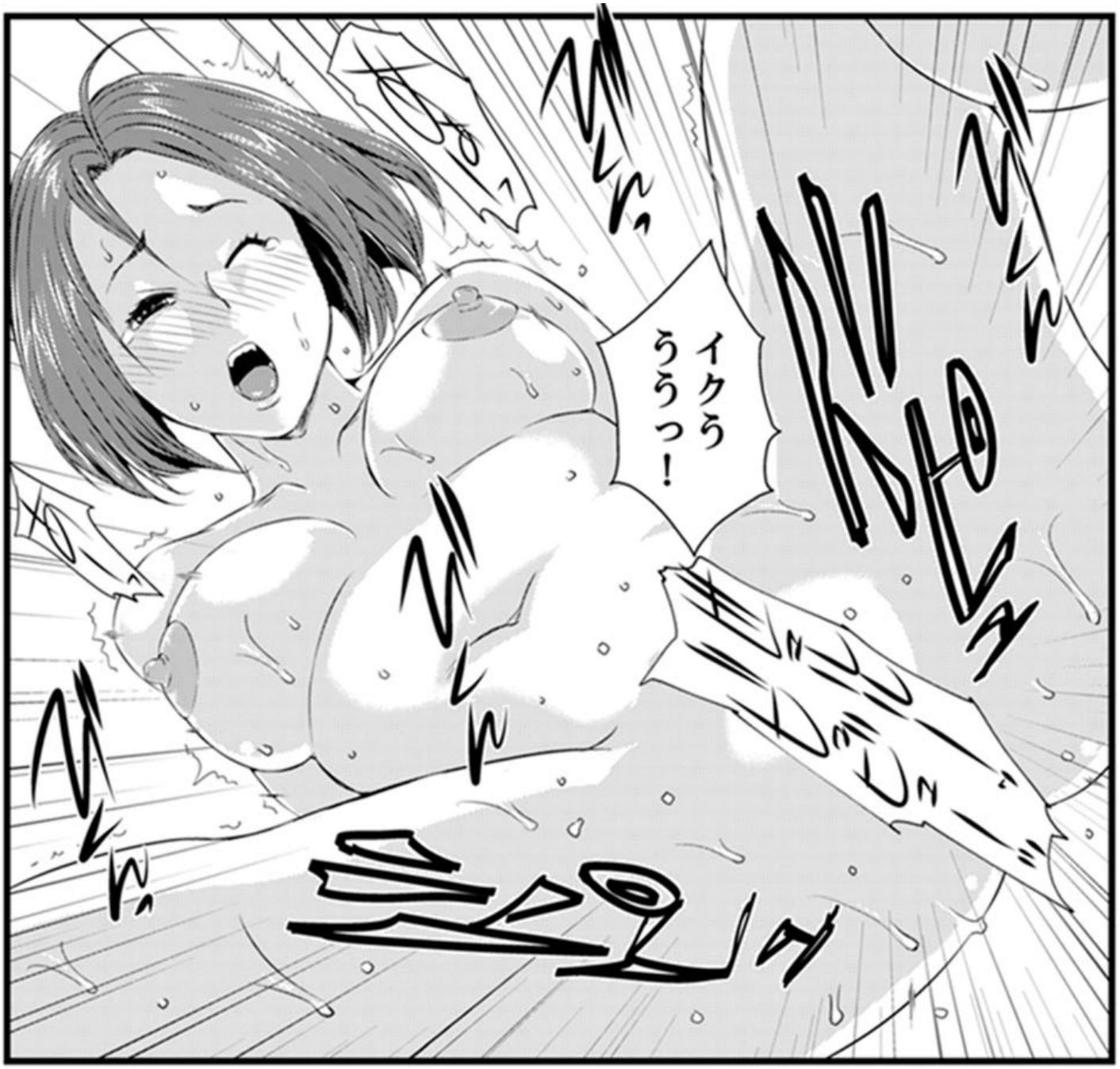
ほーら
気持ちいい
でしょう
あっ
あぁん
ズンズン
くふうっ！
奥さん
感じやすいんだね
もっともっと
イかせてあげるよ
はぁ
はぁ
はぁ
ひううっ！
びくんっ
そんなに
執拗に
敏感なところ
ばかり
攻められたら…

ああっ
またイッちゃうぅ！
乱れてるところたまらないなあ
記念撮影しましょうか奥さん
はあ
はあ
マーイコレクショーン
撮らないでぇ
やっ！恥ずかしい

ダメダメ
感じてる
ところ
撮っちゃうよ～
1アクメに
つき
1枚ね
はい！
いちまーい
こんなに
立て続けに
イカされたら
はい！
にまーい
おかしく
なっちゃう
よお！
はい
さんまいめぇ！

そろそろ
我慢
できないや
ぼあ
ぼあ
見てよ奥さん
ボクのキカン棒
こんなに
なっちゃった
ヒィィィン
ひっ！
お
大きい！
ほーれ
合体
合体～♪
ああああー！

ほらあ
奥さん見て見て
ズッポリ
入っちゃったよ
クヒヒ
夫のより
大きくてスゴい！
子宮まで
届いちゃう！
あっ
あっ
あっ
こんなキモい
男に
犯されて
イヤなのに…
どうして
わたしこんなに
感じちゃって
るの？
アソコ
キュウキュウ
締め付けて
くるよ
気持ち
いいんだね
奥さん
イクのかな？
イクのかな？
ううっ！
ボクもっ！
出そうっ！
はあ
はあ



はあはあ
いっぱい
出ちゃった

ボクね
前から
奥さんのこと
可愛いなって
思ってたんですよ

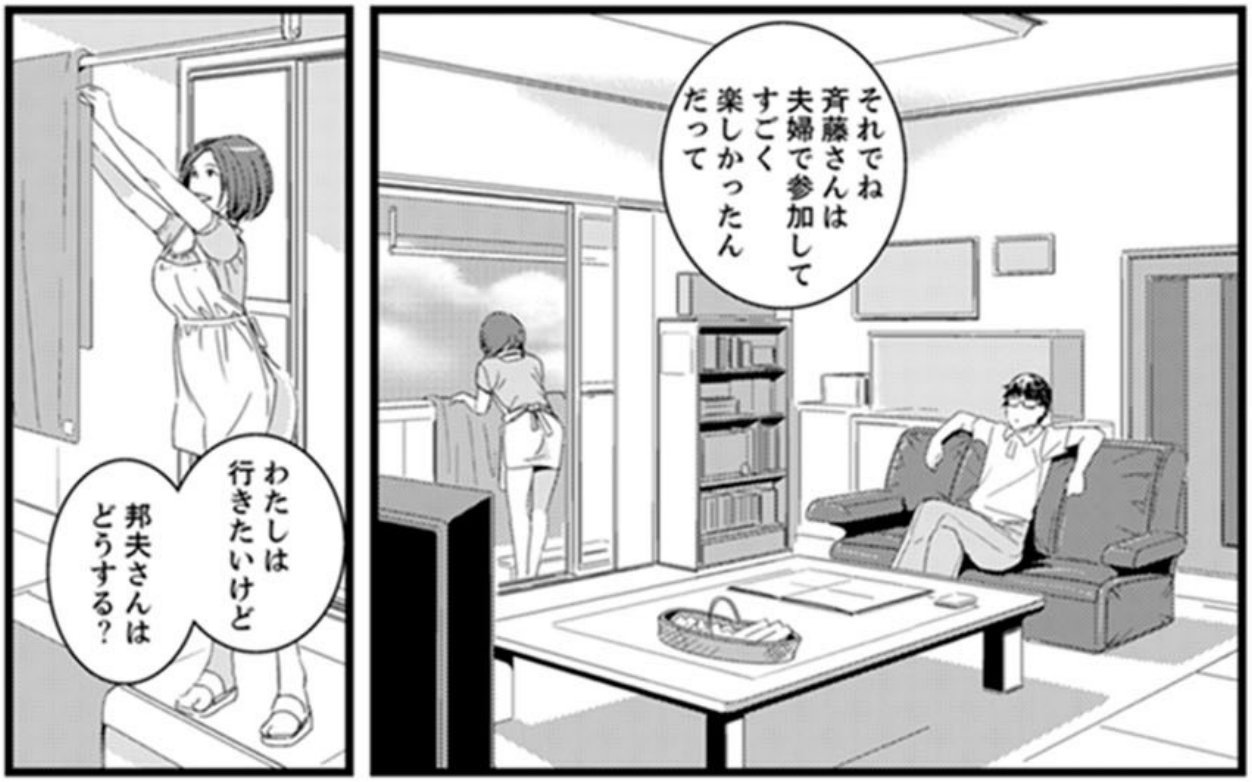
可愛いし
エロすぎ
何度でも
ヤレそう！

お願い
もう…
許してぇ

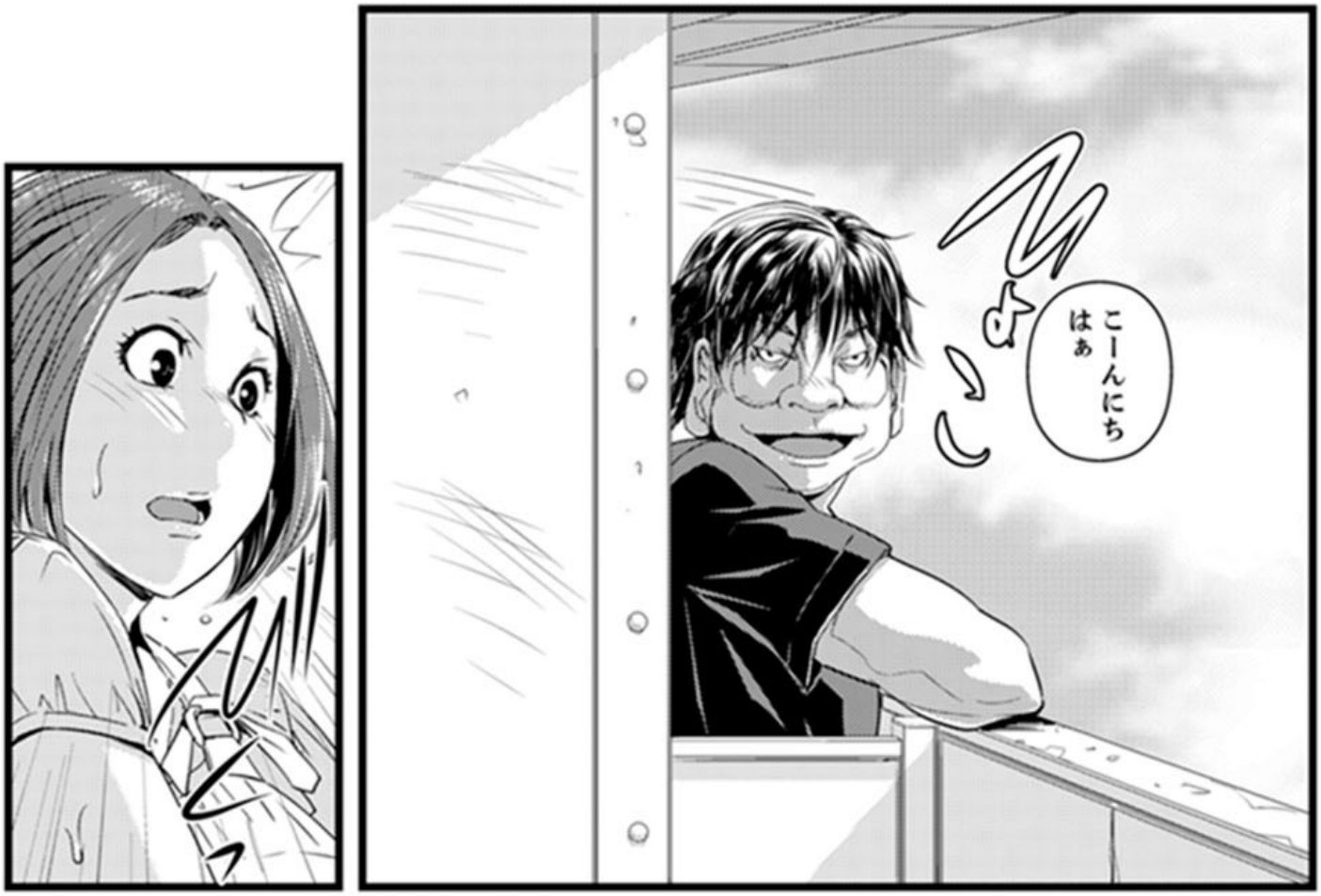
だぁめ
もう奥さんは
ボクのモノだよ

ああ…
どうして
こんなことに…

翌日


それでね
斉藤さんは
夫婦で参加して
すごく
楽しかったん
だって
わたしは
行きたいけど
邦夫さんは
どうする？

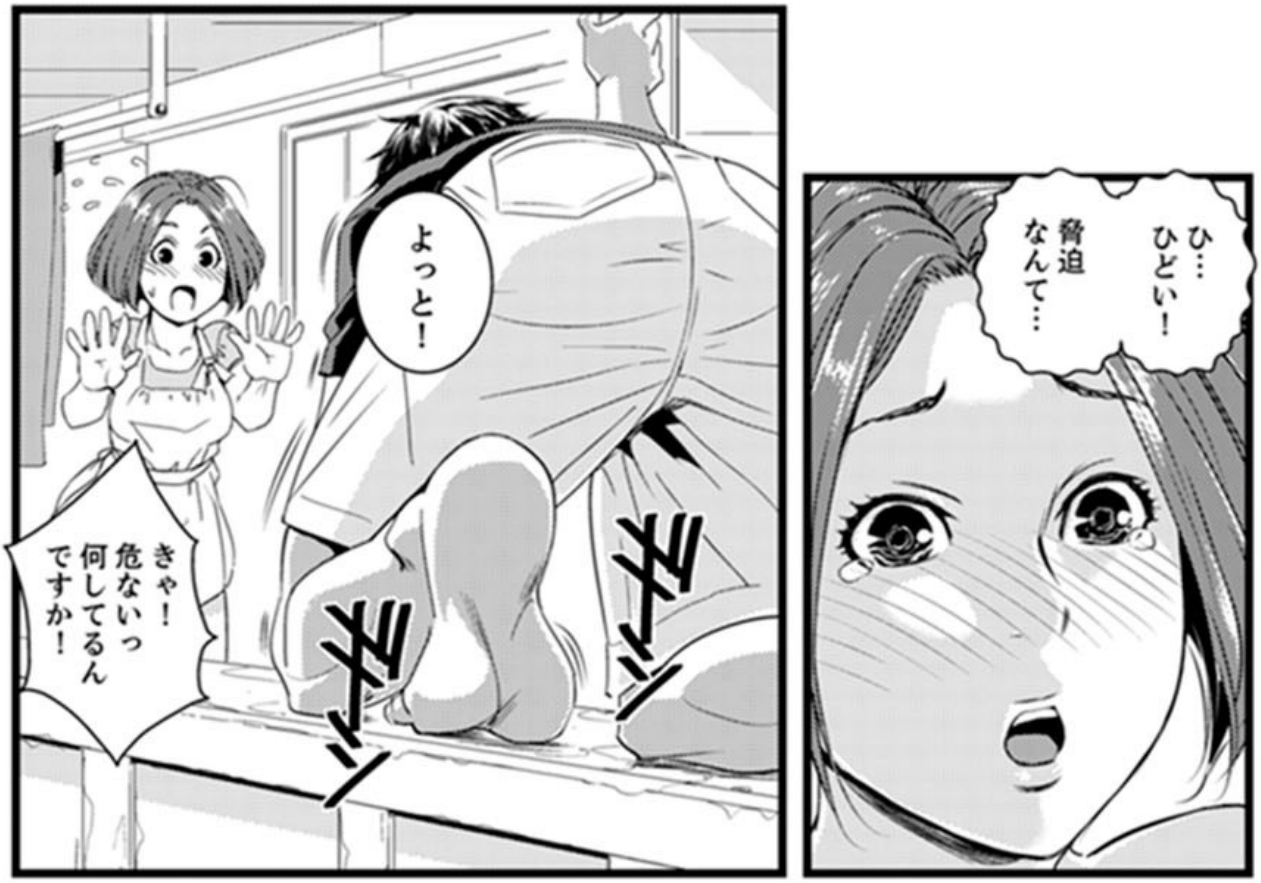
え？
なに？
ごめん
聞いてて
なかった
夫婦生活って
こんなもの
なのかなあ
昨日の
悪夢のような
出来事も
邦夫さんに
話せるはずも
ないし…


こーんにち
はぁ

なっ
なんですか！

あの後
わたし
この人に
何度も…
昨日の今日で
どんな顔を
したらいいのか
わからないよ
ボクさぁ
奥さんのことが
好きに
なっちゃった
もう一回
セックスさせて
くださいよぉ
ヒヒヒ

あなたとのことは一度きりの過ちですっ！
もうわたしに付きまとわないでください！
警察呼びますよ！
…
ぴらっ！
もう一回だけでいいんだけどなぁ
そしたら写真は処分するからぁ
お願ーい


よっと！
きゃ！危ないっ何してるんですか！
ひ…ひどい！脅迫なんて…

ちょっと！隣の部屋に夫がいるんですよ！

あ！

えっ!?
じゃあバレないように気をつけてしなきゃね

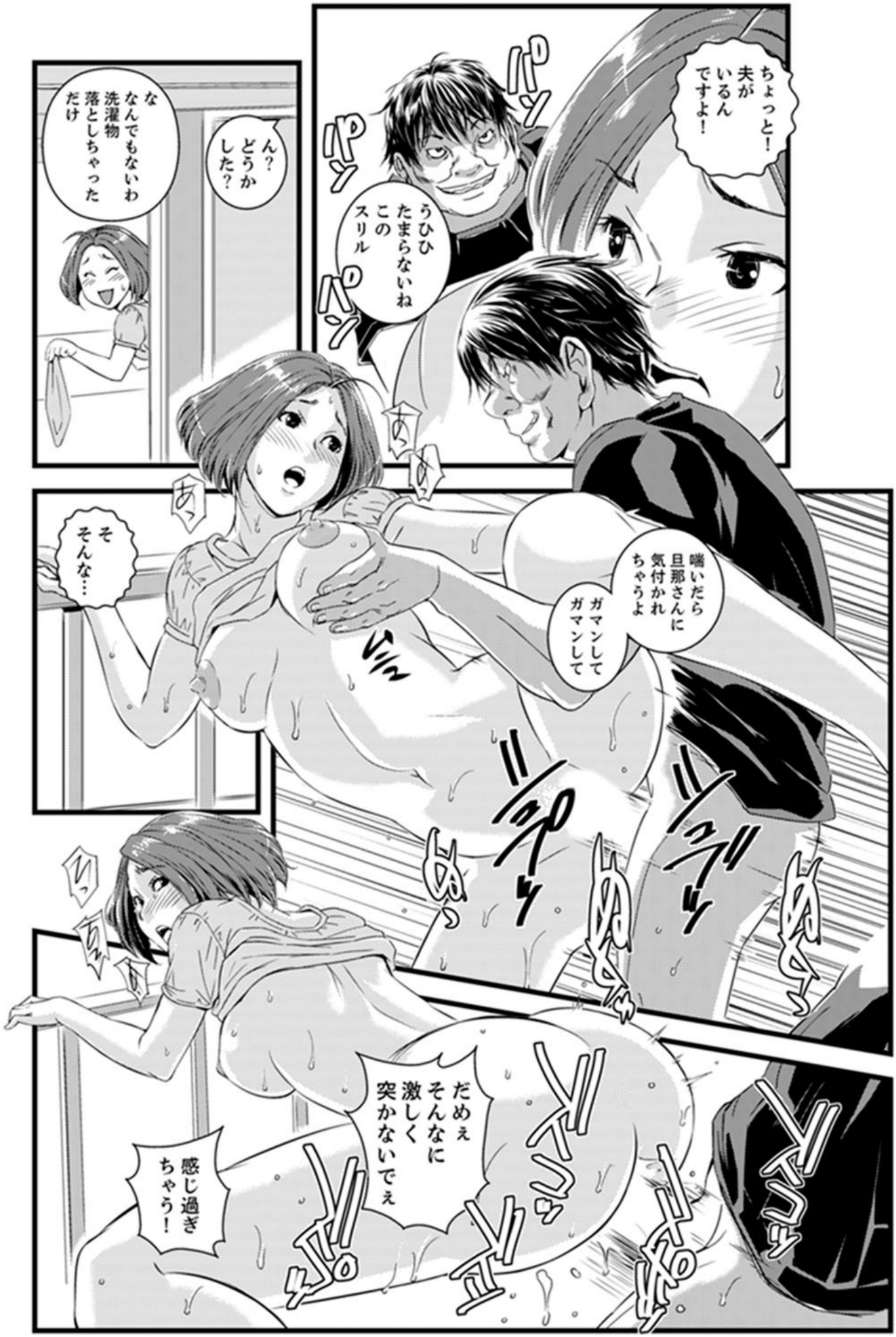
まさか
今ここで？
ちょっと
ダメです！
やめてください！
するん
ですか？
嘘でしょ！
はぁっ
はぁ
夫に
聞こえ
ちゃう！
あん！
はい
ぺろりんちょ

ほ
本当に
もう一度だけで
許してくれるん
ですね？
バレるかも
知れないと
思うと
興奮するでしょ
あっ！
ホントに
ここで
入れちゃうの？

入ってくる
入ってくるぅ！
あんんっ！
うほぉ！
きつくて
気持ちいい！
だめぇ
感じちゃう！
やっぱり
大きい！
敏感なところ
こすれて
スゴイィ！
ああっ！

ん？
ベランダに
いるのかな？
いけない！
邦夫さんに
見られちゃう!!
ドキッ
ドキッ
おーい
どう
しよう！
こんな
ときに！
えっ！
邦夫さん!?
ドキン
おーい
恵子？
カチャ
パンッ
パンッ
パンッ

恵子？
俺のシェーバーの替え刃どこにあったっけ？
はっ…はいな…なぁに？邦夫さん
だめ！夫にバレちゃう!!
お願い！こっちに来ないで！
なんとか誤魔化さなきゃ
あはは
あっ！


ちょっと！
夫が
いるん
ですよ！
うひひ
たまらないね
この
スリル
パン
パン
ん？
どうか
した？
な
なんでもないわ
洗濯物
落としちゃった
だけ
あっ
あっ
そ
そんな…
噛いだら
旦那さんに
気付かれ
ちゃうよ
ガマンして
ガマンして
だめぇ
そんなに
激しく
突かないでぇ
感じ過ぎ
ちゃう！

あっ
ちょ
キョロ
邦夫さんが
少しでも
こちらに
近寄れば
バレてしまう
邦夫さんの
こんな近くで
わたし
犯されちゃって
るよ
あっ
ちょっ
クリ
クリ
乳首
責めちゃ
ダメぇえ！
夫以外の
男にまた
犯されて
しまうなんて
あん
ちゅぱ

しかもこんなに感じてしまって…
必死に喘ぎ声を噛み殺してる
うひょー気持ちイイ！
最高だよ奥さん！
もうどうしたらいいの
邦夫さんがこっちに近づいてくる！
うーん
どこだ？
せっ
洗面所の…
棚の上のほう…にないかしら…
ああああ…わたしもう…
んー
そっかぁ見てみるよ
パタン

ああああっ！
ダメぇえ！
イクううううっ！
ううっ
出るぅう！

ひやひや
だったね
イヒヒ
ねえ
興奮した
でしょ？
ひ…
ひどいわ

この時
わたしには
微塵も
想像できて
いなかった
ポタ
ポタッ

これから
本当に
地獄が
訪れることを…

1週間ほど
出張するので
留守の間
よろしく
お願いします
それは
大変ですなあ
お気をつけて
いって
らっしゃい

オーナーさん
おはよう
ございます
おや
松本さん
どちらへ

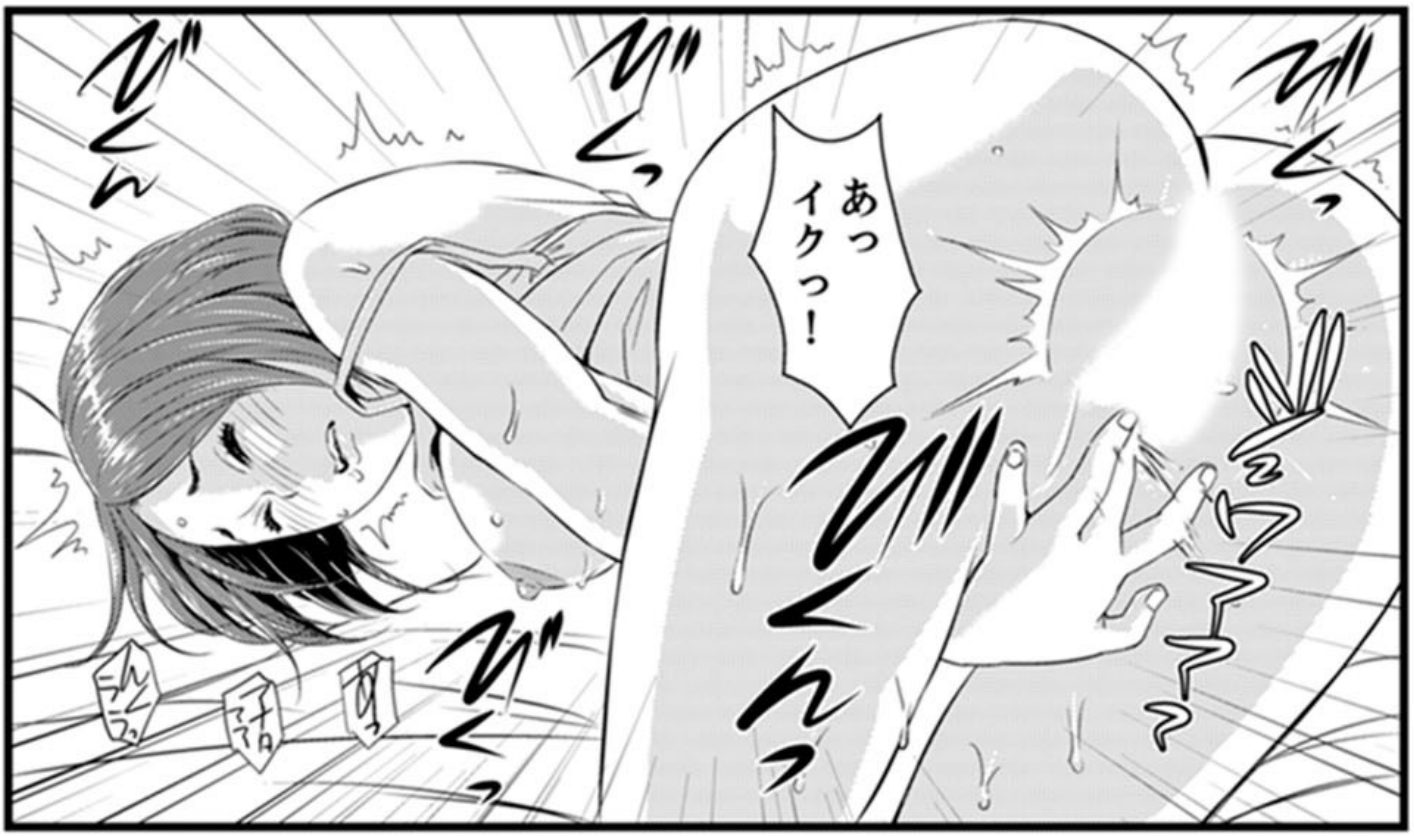
お仕事だから
仕方ないけど
さみしいよ

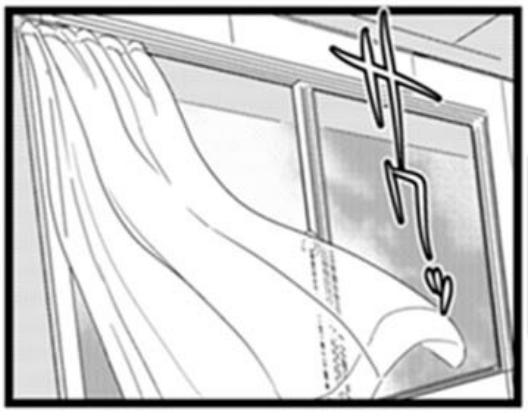
忍び寄る
不安感
もしまた
あの男が
来たら…

ただでさえ
セックス
レスなのに
長期出張
とか
なんなのよ

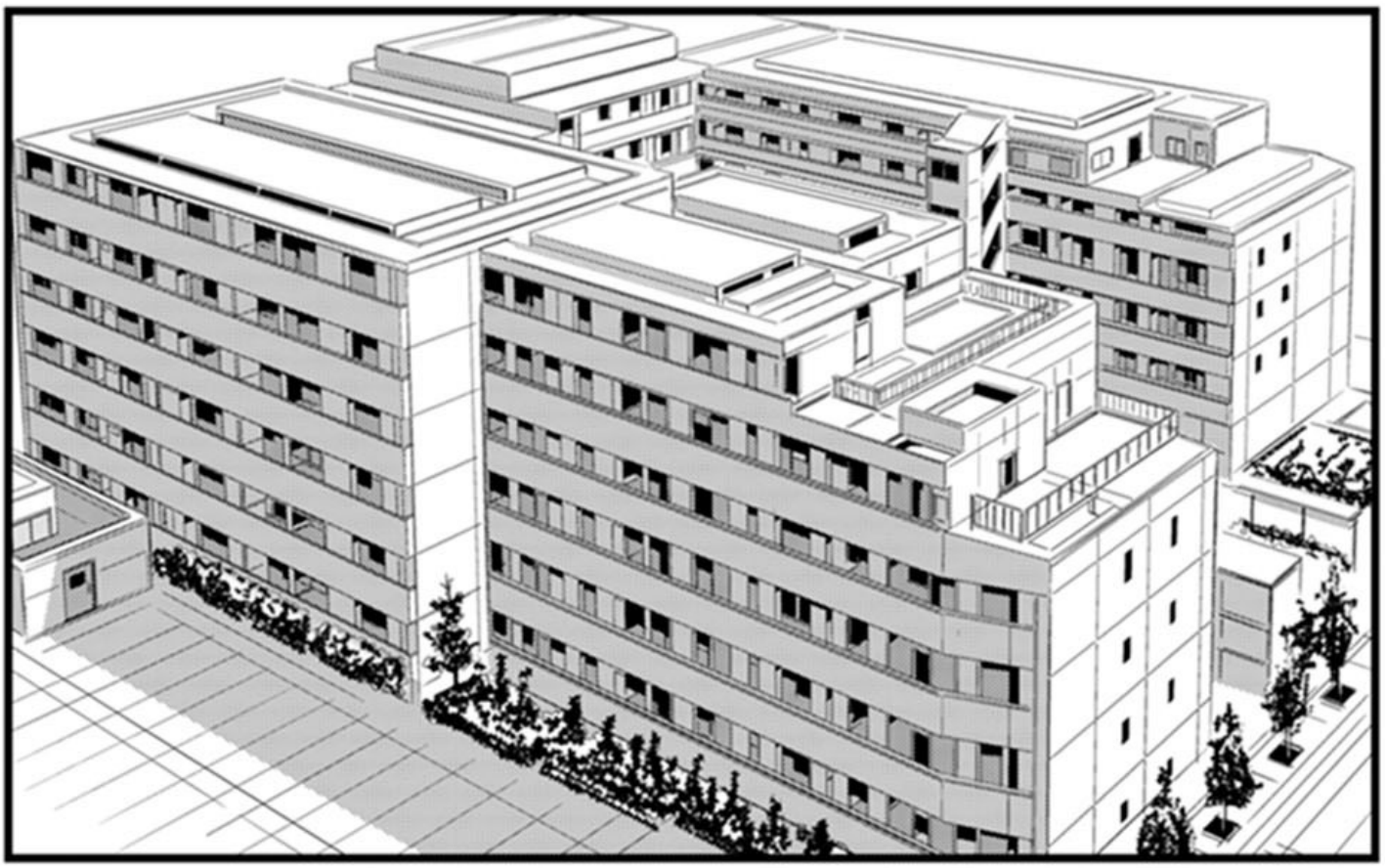
気味の悪い男…嫌悪感しか湧かない
だけど犯されてイかされて身体が熱くなって
思い出すとわたし…濡れちゃってる
邦夫さん以外の男を想像して興奮するなんて…
こんな自分がイヤだ
ごめんなさい邦夫さん
しゅん…
愛しているのは邦夫さんだけ
恵子
抱いて欲しいのもあなただけ
そうよわたしは貞淑な妻なんだから

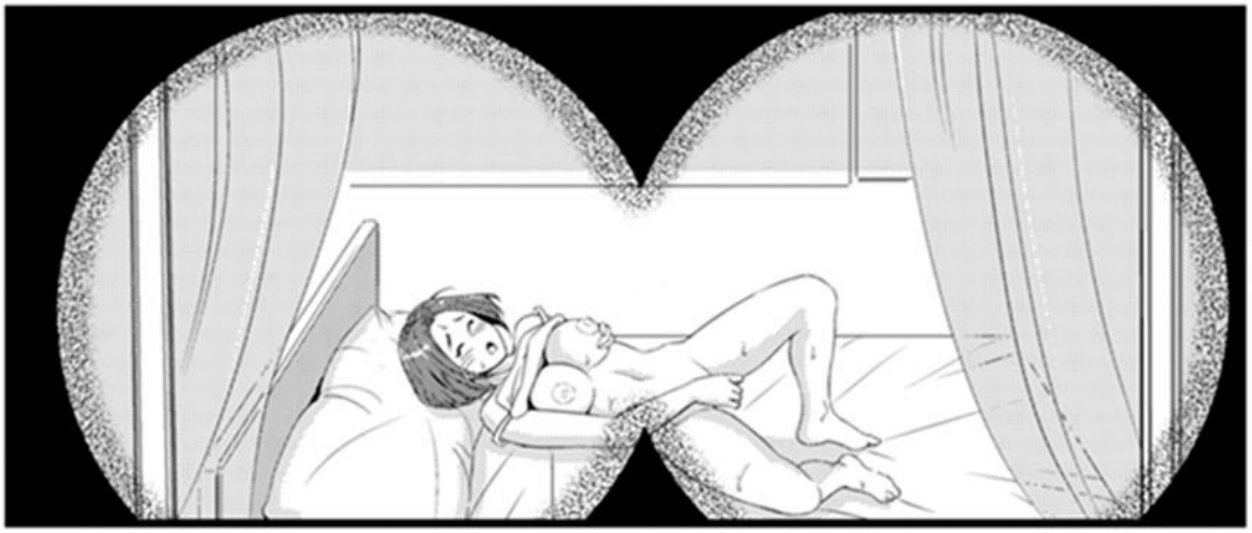
ああ
邦夫さん…
あなたに
抱かれたい
指が
止まら
ない
自分で
慰める
なんて
こんな
エッチな
女じゃ
なかった
はずなのに
この指が
夫のもの
だったら
いいのに…
わたしを
満たして
欲しい


あっ
イクっ！



はあ
はあ
せつない…

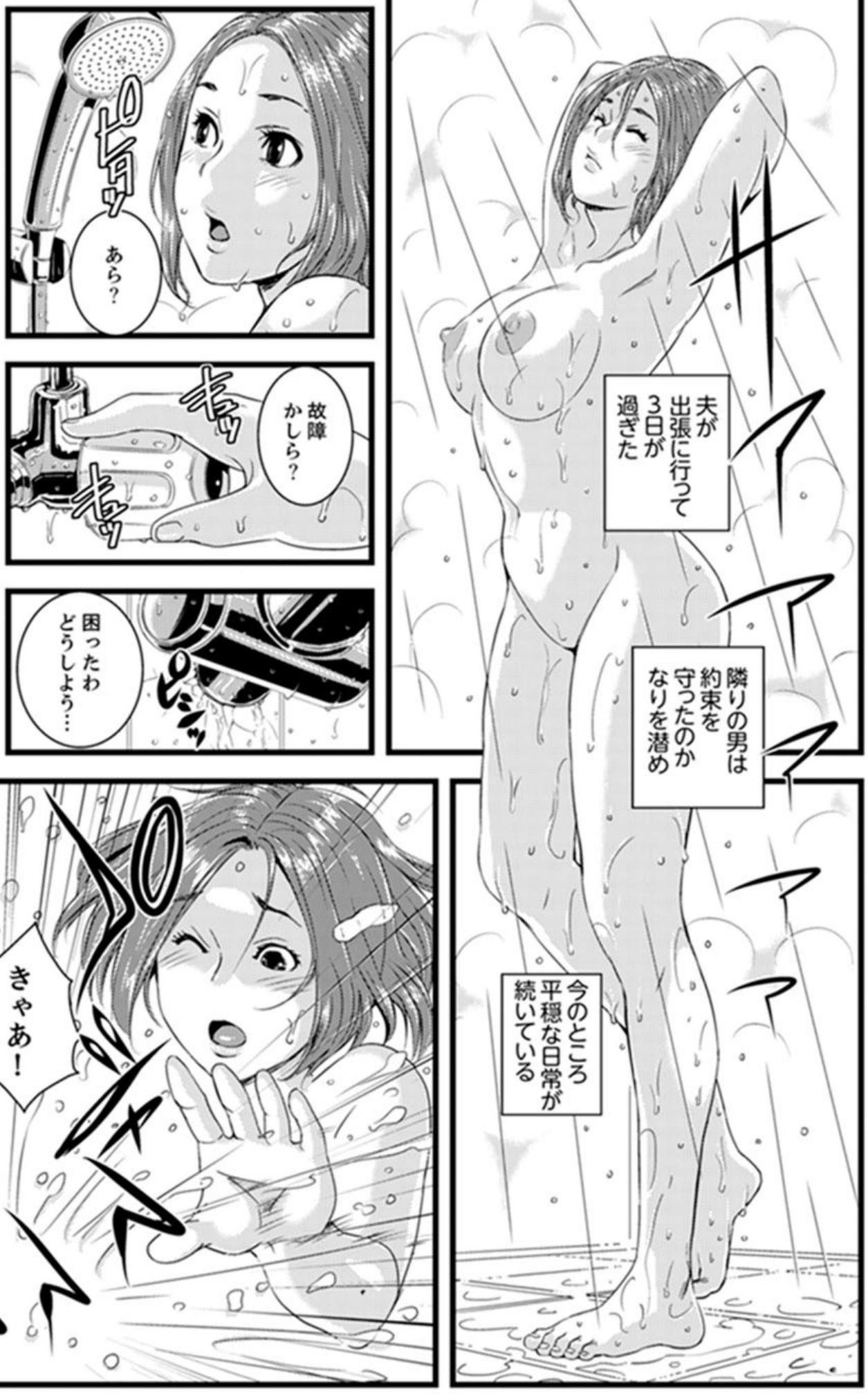


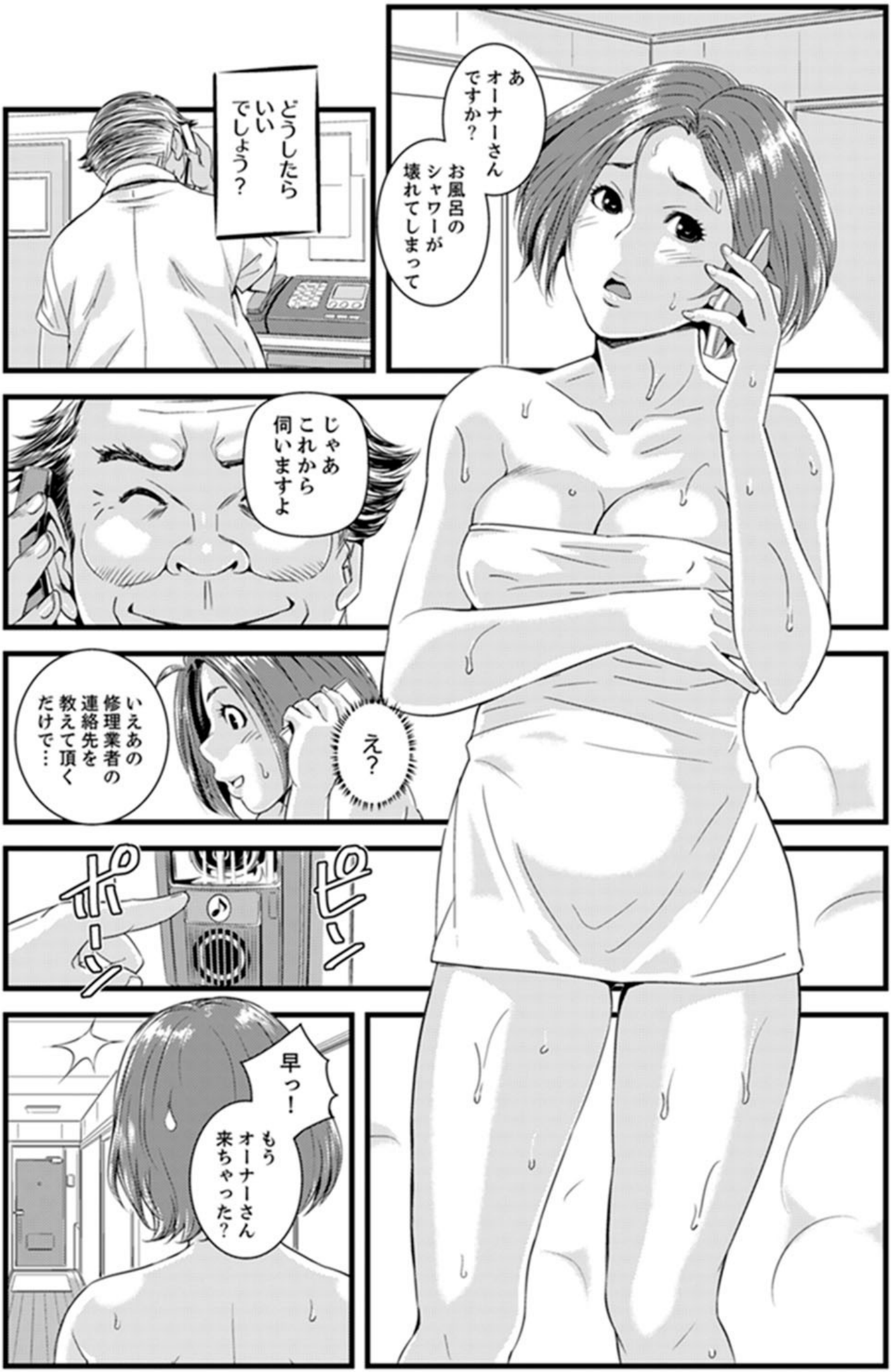


おやおや
なんと…

これは
ひょっとして…

いいもん
見て
しもうた
わい


夫が出張に行って3日が過ぎた
隣りの男は約束を守ったのかなりを潜め
今のところ平穏な日常が続いている
あら？
故障かしら？
困ったわどうしよう…
きゃあ！


あ
オーナーさん
ですか？
お風呂の
シャワーが
壊れてしまって
どうしたら
いい
でしょう？
じゃあ
これから
伺いますよ
え？
いえあの
修理業者の
連絡先を
教えて頂く
だけで…
ピーン
ポーン
早っ！
もう
オーナーさん
来ちゃった？

大丈夫ですか奥さん
ご主人の出張中にトラブルとは
このマンションのオーナーさん
隣りのあの男の父親…
あ…すみませんわざわざ
この目
息子とよく似てる
いいんですよ
それにしても色っぽいですなあ
眼福
眼福
やだ！わたしったらこんな格好のまま…
はっ

浴室はこっちですな
あ…あの…

すぐに業者に連絡しておきますよ
はいありがとうございます

そりゃそうでしょ

ふむふむああ…これは…
わしじゃ無理ですな

奥さんいい身体してますな

ちょっとだけ触らせて貰えんもんかね

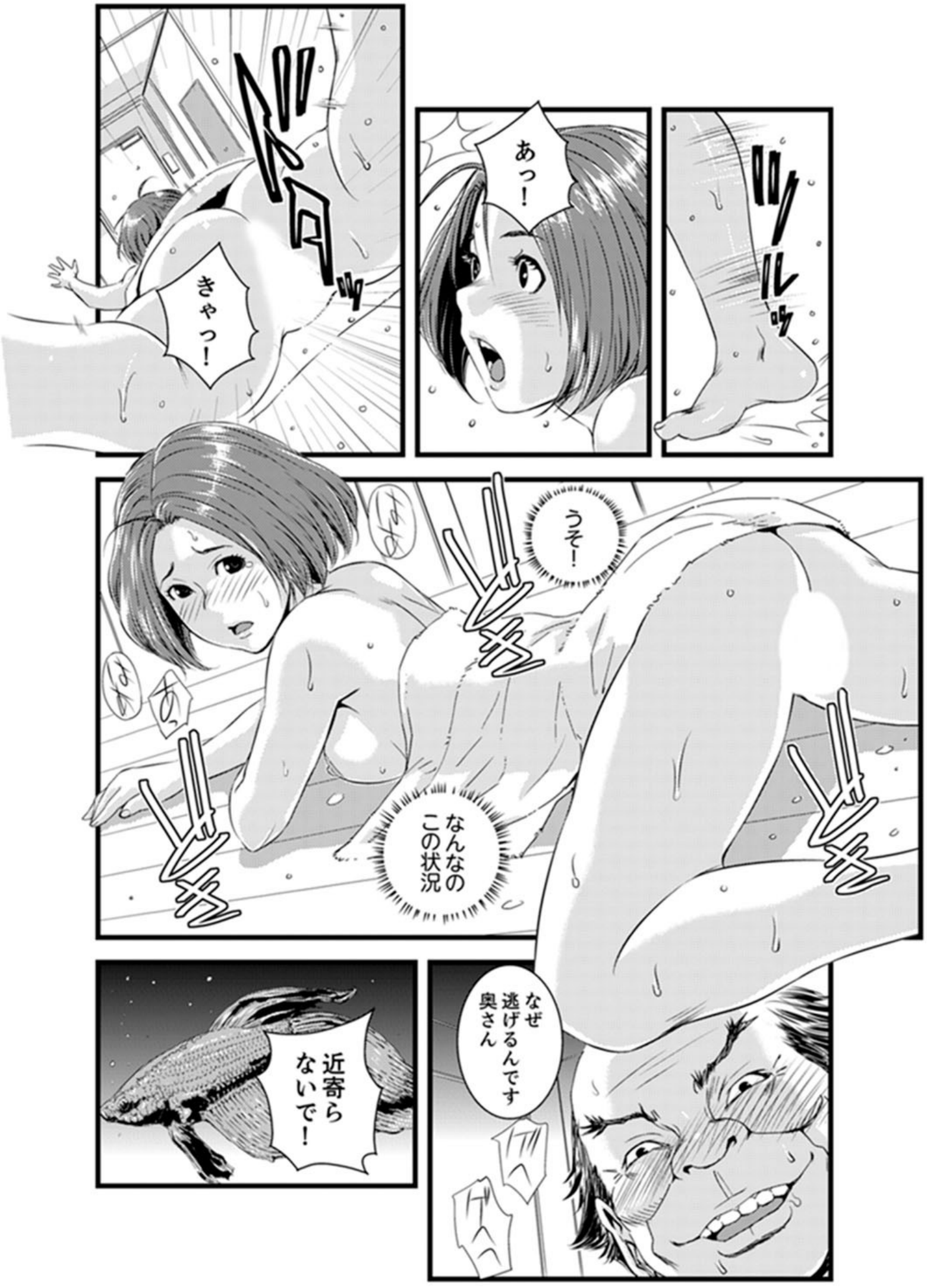
それにしても…

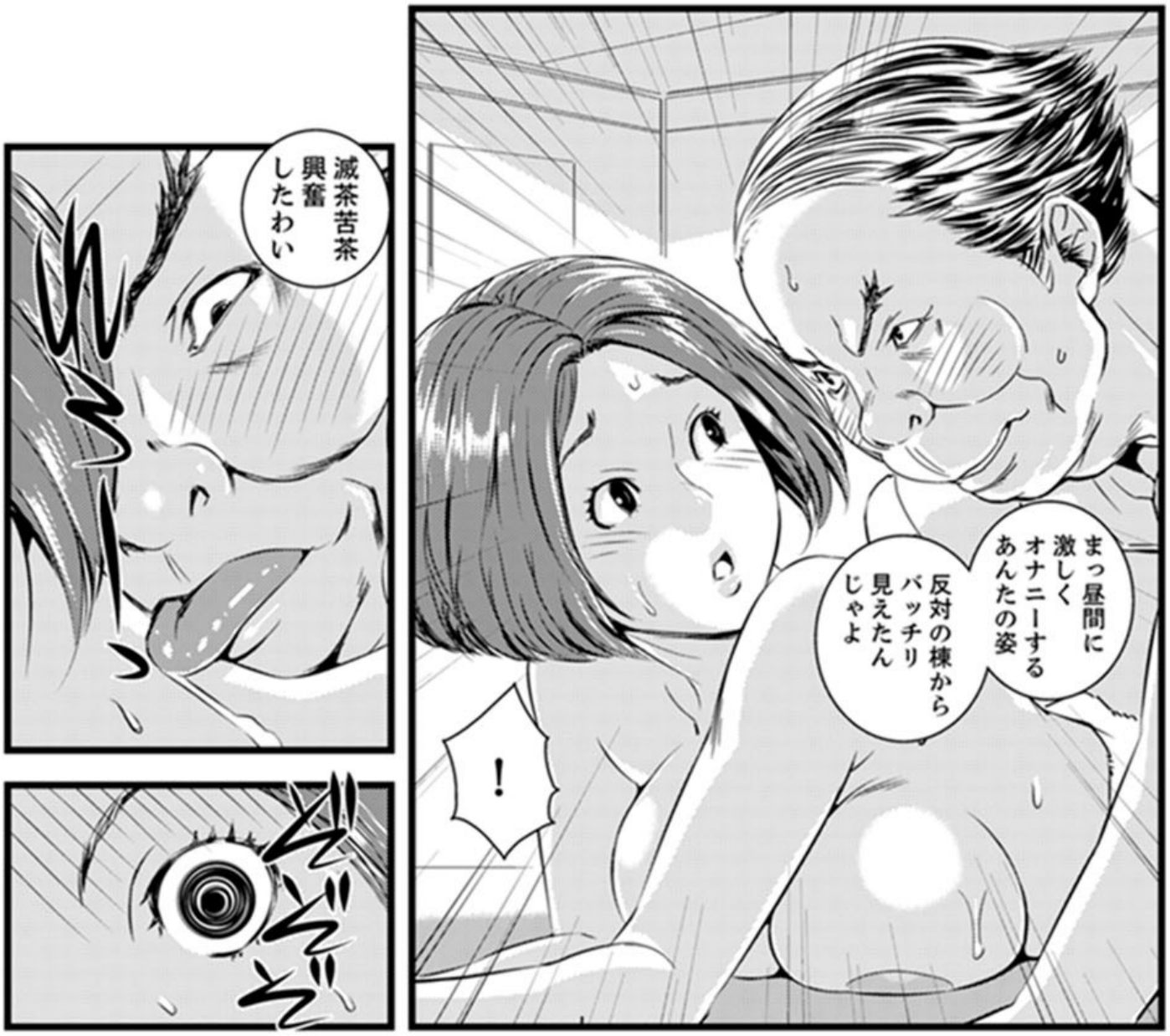
なっ
何を
おっしゃるん
ですか！
失礼だわ
この人！

エロ
親父！
わたしを
見つめる
イヤらしい
眼
ミキ
奥さん…
実はわし
見てしまったん
ですよ
な…
なにを
ですか？

ガラ
ピシャ

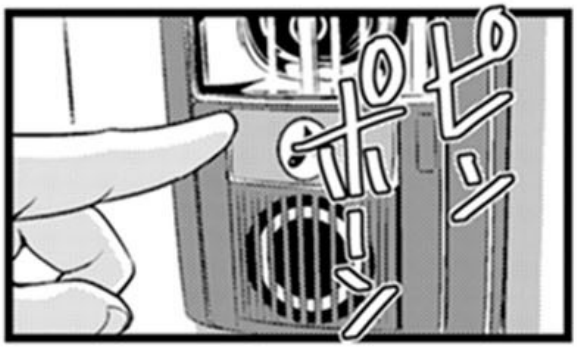
ガッ


ルルルッ
あっ！
きゃっ！
うそ！
なんなのこの状況
なぜ逃げるんです奥さん
近寄らないで！


まっ昼間に
激しく
オナニーする
あんたの姿
反対の棟から
バッチリ
見えたんじゃよ
！
滅茶苦茶
興奮
したわい
ハァハァ
ゾゾゾ

そんな格好で
ホントは
誘っとるん
じゃろ？
ドタドタ
違いますっ！
見られてた!?

寂しいもん
同士
仲良く
しようや
いやぁ！


ピンポーン

はっ

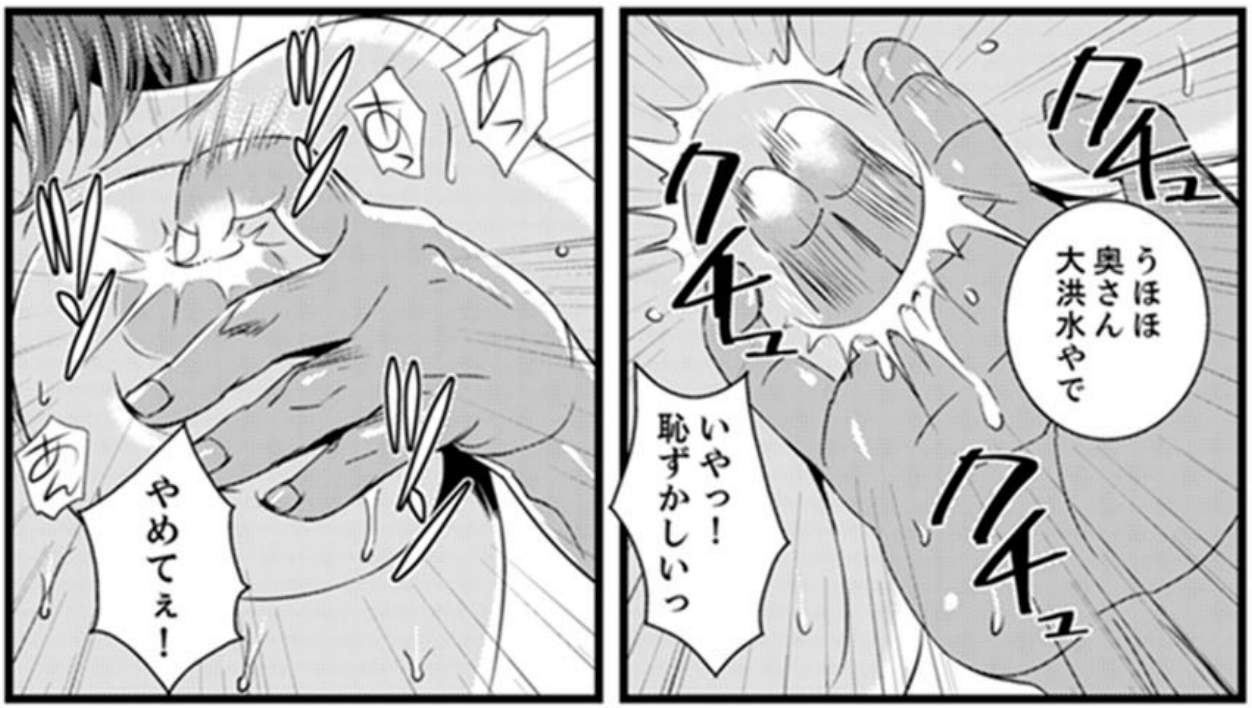
松本さーん
お届け物
でーす
助かった!?
た…
助け…
ドン
叫んで
みなさい
そのかわり
夫婦はこの
マンションに
住めなくなるで
あんたがた
え?
このマンションに住めなく…?
松本さーん
お留守ですかぁ?
夫との愛の巣として無理して購入したこの部屋
私たち夫婦にとってどれだけ思い切った買い物だったか

さあ
どうするね？
わしは
どちらでも
かまわんで
ああっ
そんな
ところ…
やめて
ください
ダメッ
あっ
あっ

いま叫べば
おそらく
助かる
でも
何より大切な
住み処を
失って
しまう？
わたし
どうしたら…
クチュ
あぁ
クチュ
あっ
クチュ
そんな

ご不在連絡票
様
去っていく
足音
絶望

ふう
行ったか
たまらんのう
このスリル
あんたも
ドキドキした
じゃろ？
ん？
ああ…
もぞ
もぞ
もぞ


うほほ
奥さん
大洪水やで
クチュ
クチュ
クチュ
いやっ！
恥ずかしいっ
あっ
あっ
あん
やめてぇ！

中年の
粘りつくような
性技
言葉とは
裏腹に
身体は
反応してしまう
獲物を
捕らえた
満足の
笑み

脳が
痺れて
何もかも
どうでもよく
なってしまう
あああ…
あっ
あっ
あっ

旦那がおるのに
オナるなんて
寂しいん
じゃろ？
ワシで
良ければ
いつでも
慰めに来るで
嫁に
逃げられて
もう5年
性欲持て余して
るんや

あっ!?

こんなに
溢れて
奥さんのココ
蕩けて
きとるよ
そ
それは！
恥ずか
しいっ！
トロオ

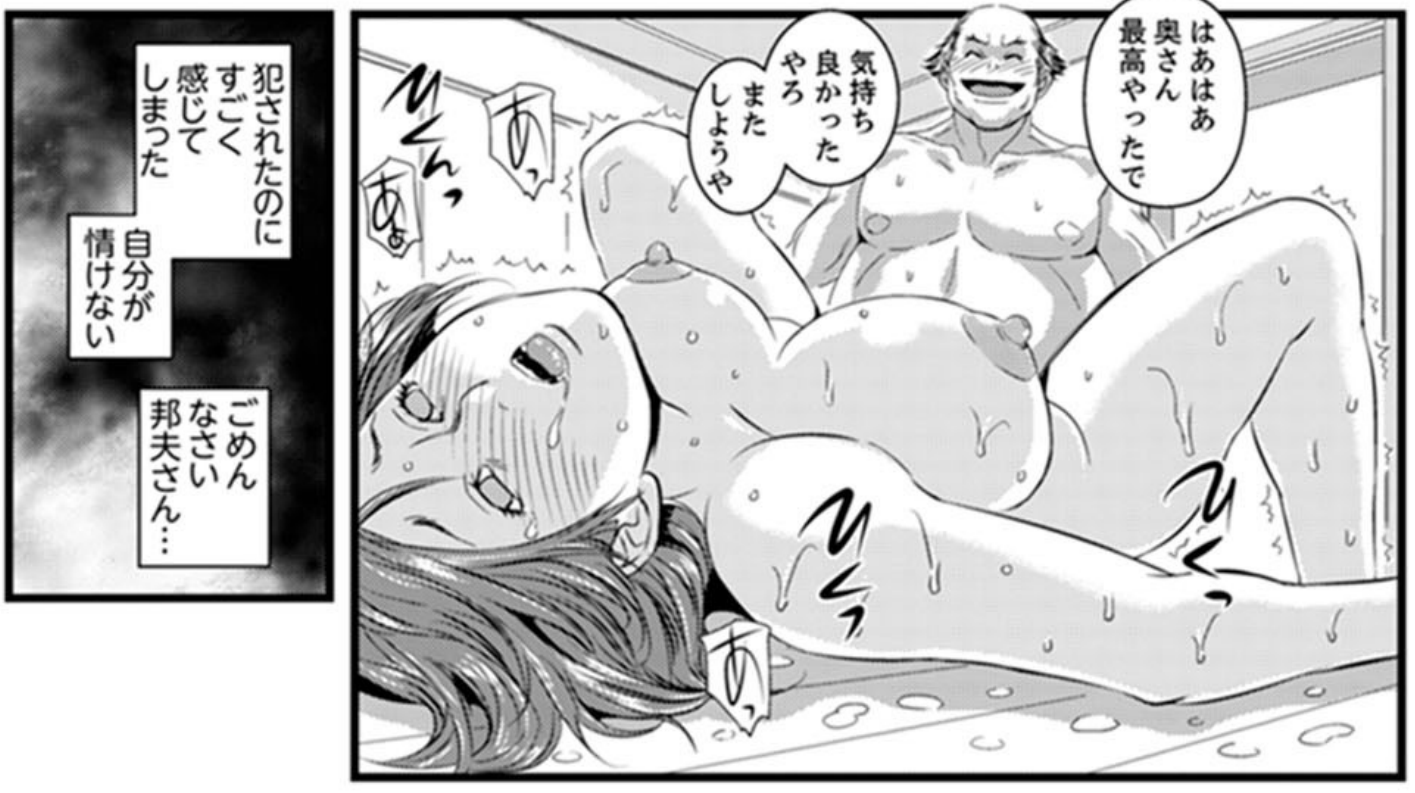
やっ！
そんなところ
汚いっ！

クリクリ
夫には
触れられた
ことのない
部分まで
クチュ
クチュ
そんな
トコ、
弄られ
舐められ
わたしは
翻弄される
やっあっ
ダメェッ
チュパ
チュパ
あぁ
もも
わしもう
限界！
入れて
ええか？
ええな？
えっ？
ダメぇ！
あぁーっ！
あああっ！
息子さんの
モノより
更に太いいっ！
どうや？
旦那さんのと
どっちが
エエ？
はあ
そんな
こと…
あああっ！
もみ
どうしよう
息子さん
だけじゃなく
父親の
ほうとも
こんな
ことに…
あん

こうして早く動かすと
奥さんのアソコきゅうって締まるで
パン
パン
パン
ああっそんなに突かれたらわたしっ！
イクんか？イクんやな？
ええで思いっきりイッても
ほれほれ
ひいっ気持ちいいっ！
アカン！わしも出てしまいそうや！
ええか奥さん？出すでええか？
だっだめぇ！中はあっあっ！

そりゃあ！
ぬぐぅぅっ！
ビュルルッ
ビュルルッ
あひいぃ！
イクぅ
イッちゃう
ぅぅ！

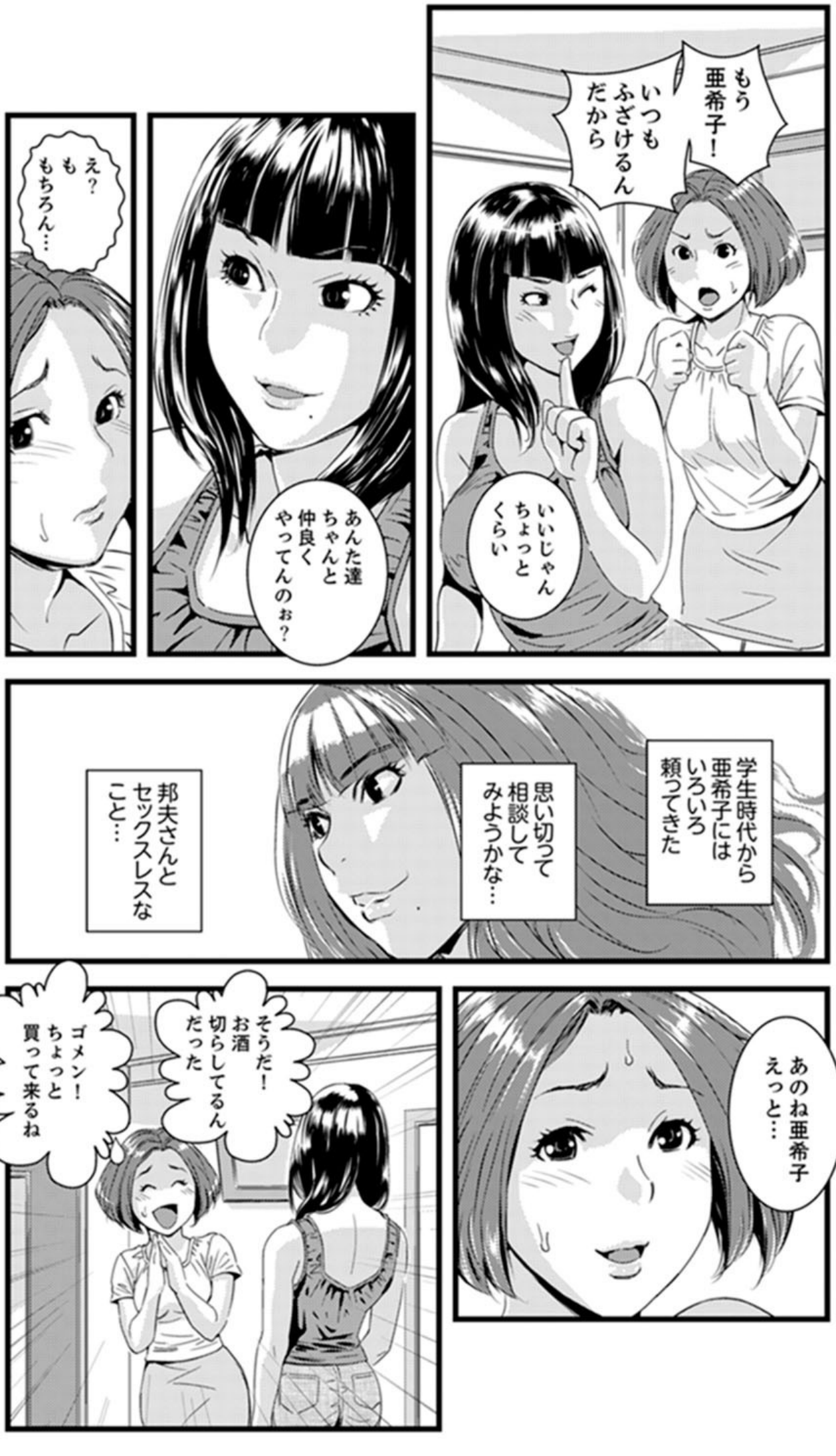
うおおっ！
射精が
止まらんっ！
大量に
でるわいぃ！


はあはあ
奥さん
最高やったで
気持ち
良かった
やろ
また
しようや
犯されたのに
すごく
感じて
しまった
自分が
情けない
ごめん
なさい
邦夫さん…

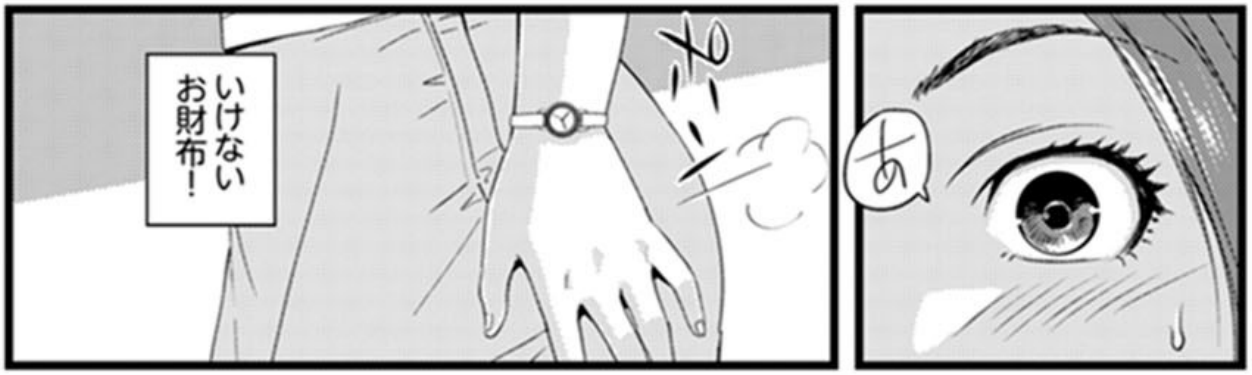
親父が…
あ
あ
あ
アレは
ボクのもの
なのに…
なめ
なめ

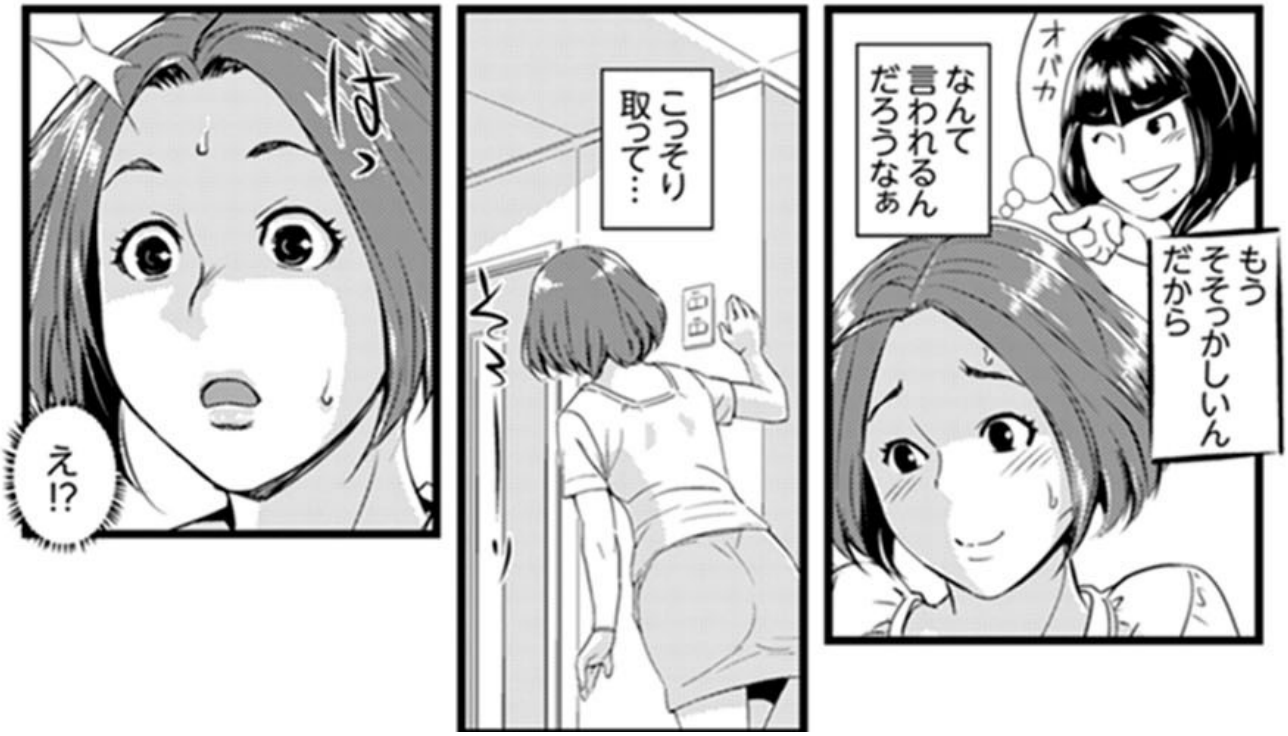
うっ！
ドピュッ
はあ
はあ
はあ
はあ
誰にも渡さないよ…
深く暗い沼に沈みこんでゆくような感覚
もがいてももがいても抜け出せない悪夢をわたしは見ている
ザワ
ザワ
ザワ

数日後
親友の亜希子が遊びに来た
こんにちはー
お邪魔しまーす
相変わらずステキなお部屋ね
いらっしゃい
わたしたち3人は大学で同じサークルだったのだ
久しぶりだね亜希ちゃん
クニ先輩おひさしー！
ムリ！


もう
亜希子！
いつも
ふざけるん
だから
いいじゃん
ちょっと
くらい
あんた達
ちゃんと
仲良く
やってんのぉ？
え？
も
もちろん…
学生時代から
亜希子には
いろいろ
頼ってきた
思い切って
相談して
みようかな…
邦夫さんと
セックスレスな
こと…
あのね亜希子
えっと…
そうだ！
お酒
切らしてるん
だった
ゴメン！
ちょっと
買って来るね

言えるわけないよそれに…
夫以外の男たちと関係を持ってしまったことをもし知られでもしたらきっと軽蔑される…
ピンポーン


あ
いけないお財布！


もうそそっかしいんだから
オバカ
なんて言われるんだろうなぁ
こっそり取って…
はっ
え!?

パン
パン
パン
あっ
あん

ううっ
亜希ちゃん
クニ先輩
いいのっ！
もっと
突いて！
突いてっ！
あっ
あ
あぁ
イキそう
いい
あん

亜希子と
邦夫さんが！
うそ！
どうして!?

亜希ちゃん
ダメだよ！
恵子が帰って
くるから！
大丈夫
20分は帰って
こないわ

ぴぽ
ぴぽ
ぴぽ
ほらほら
ガマン
できるの？
あなたの弱い
ところなんて
みんな
知ってるん
だから

邦夫さん…
ううう！
出るぅ！

目の前に
繰り広げられる
信じがたい
光景
いいて
まさか
夫と
親友が…

二人の会話から
今回が
初めてでは
ないのが
分かる
わたしに
秘密で
ずっと
関係を?

邦夫さん
気持ち
よさそう
はぁっ

あんな表情
わたしに
見せたこと
ないじゃない

わたしは抱いて
くれないのに
亜希子とは
こんなに…

うおお
吸い付くっ！
もう
出ちゃうよ
亜希ちゃん
いいわ
たっぷり出して
いつもみたい
にっ！
パン
パン
パン
パン
はぁはぁ
うふっ
ペロ
ううっ！
ああん！
すごく
熱いいい！
ドピュ
ドピュ
ピュッ
おいおい
またか
もう
無理だよ
だぁめ
恵子を抱く
精気なんて
残しておいて
あげないん
だから
嘘でしょ!?
なんなの
これ！

わたしの
頭の中は
ぐちゃぐちゃで

もう何も
考えられなく
なっていた

学生の頃の
記憶が
脳裏をよぎる

毎日が
キラキラ
してた
あの頃

こんな未来を
想像出来た
だろうか

20分後

お…
おまたせ

おかえりー

楽しいはずの
宴は
拷問に等しく
わたしは
作り笑顔で
堪えるのが
精一杯だった
その夜
なあ
恵子
え?
夫が
求めて
きた!?
亜希子との
濃厚な行為が
夫を欲情
させたの
だろうか
なんという
皮肉
彼女を抱いた
その腕で
わたしを
抱くの?

ごめん
今日は
そんな気分じゃ
ないの…
恵子…
拒絶して
しまった…
あんなに
抱いて
欲しかった
のに…
わたしの
夢見た
夫婦生活は
どうして
こんなことに…
おやすみ…
カタ
カタ
カタ
カタ
えへへ
そうなんだぁ

数日後
今日から
マンションの
管理組合が
主催する
夏祭りがあり
億劫そうな
邦夫さんを
説得して
夫婦で出かけた
あ
金魚すくい
やりたい
なんだ
子供みたい
だな
いいじゃない
たまの
お出かけ
なんだから
久しぶりの
夫婦だけの
時間
あの頃に
戻った
みたい
もやもやした
気分が
少しずつ
晴れてゆく
亜希子の
ことは
今は忘れたい
おや
おや

松本さん
こんばんは
お
オーナー
さん

どうです
なかなか
盛大なお祭り
でしょう？
はい
お二人は
越してきて
初めて
でしたかな？

そうだ
奥さん…
この間は
どうも

ギキッ

この間
って？
え？
ああ
シャワーが
壊れた時に
見て頂いたの

オーナーとの
ことは
知られちゃ
いけない！

RRRR

ああ
ちょっと
失礼
はい
私です

はい…
はい…
それは
困り
ましたね

ごめん
急な仕事が
入った
え…
そんな

もう…
タイミング
悪いなぁ
はあ

どう
ですかな
折角の祭り
なのですから
ワシが奥さんを
エスコート
しましょう
え?

ちょうど
巡回も終わって
暇を持て
余してた
ところです
いいん
ですか?
それは
助かります
氷

特製
広島風
そば
ちょ
ちょっと
邦夫さん
なんで
こんな
ことに!

さあ
行き
ましょうか
奥さん

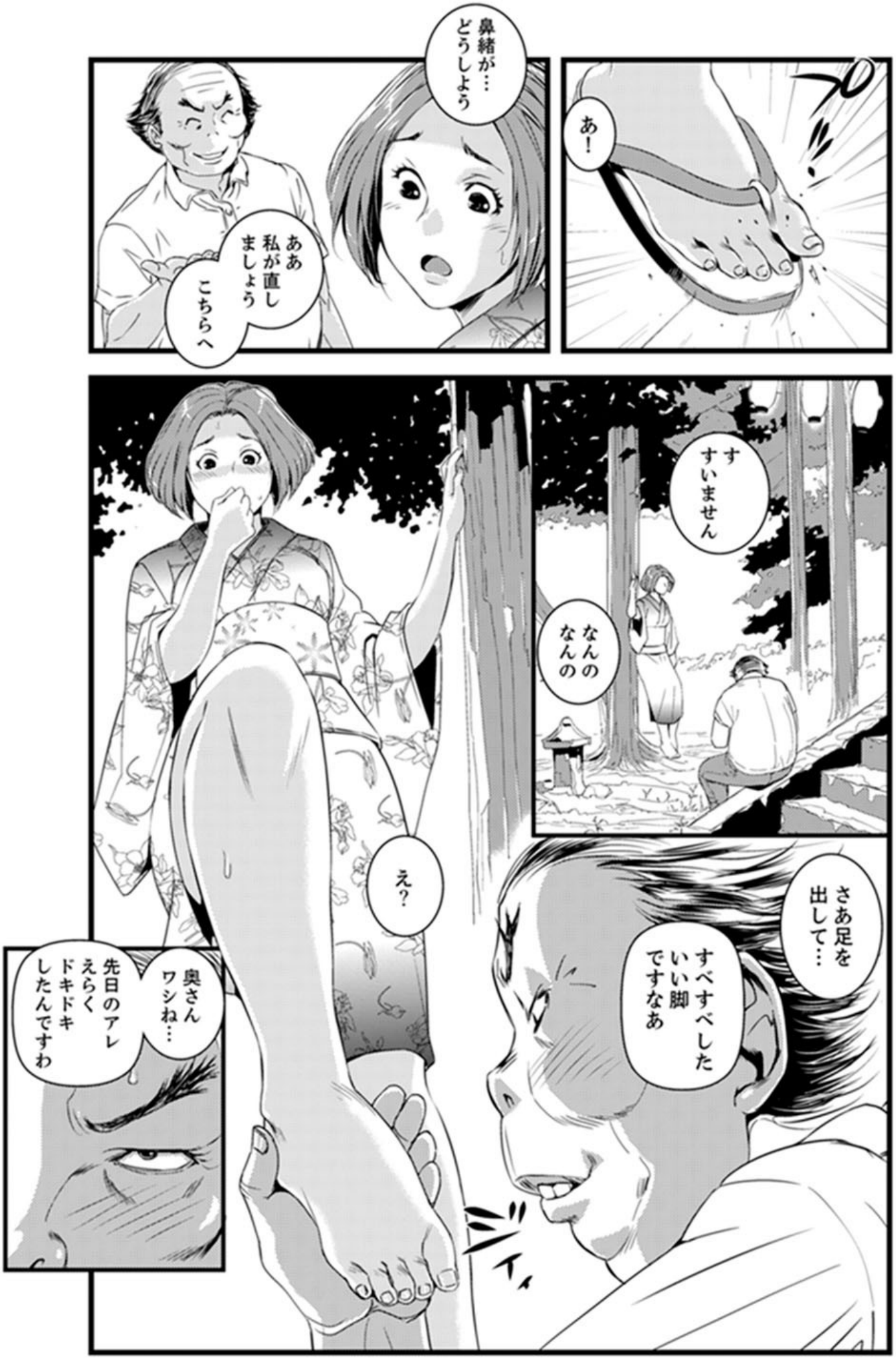
フゥ
ヒーヒョロ
ドンドン
ヒャラ
数年前までは
えらく
こじんまりとした
祭りだったん
ですがね
グリーン
タウンが
出来たでしょう

やおそ
ザワ
町おこしも
兼ねて
大規模に
企画し直したん
ですわ
言いだしっぺが
会長をやれと
言われて
参りました
うはは

ジィ
それに
しても

浴衣姿と
言うのは
色っぽい
ですなあ

な
なにを…


あ！
鼻緒が…
どうしよう
ああ
私が直し
ましょう
こちらへ
すいません
なんの
なんの
え？
さあ足を
出して…
すべすべした
いい脚
ですなあ
奥さん
ワシね…
先日のアレ
えらく
ドキドキ
したんですわ

こういう人に見られそうな場所でスケベしたら
また興奮するんでしょうな
ちょちょっとオーナーさん！
ちょっと！やめてください！
しゅりん
やっ！あっ！
しゅ
だめっ！だめですよ
そう言いっつ
あまり拒んではいませんな
にゅん
ちゅぷ
ちゅく
あん！そんなに弄ったら…

ほらこんなに濡れてきてますぞ
ドロ…
奥さんも好きなんじゃないかね
違いますそれはオーナーさんが
ドキドキするやろ？きっと病み付きになりますよ
へ変態っ！
ほれほれ
ああ素晴らしき青カン
すごく興奮するわい
こんな場所で犯されるのはイヤ！
ジャリ…
誰か来る!?

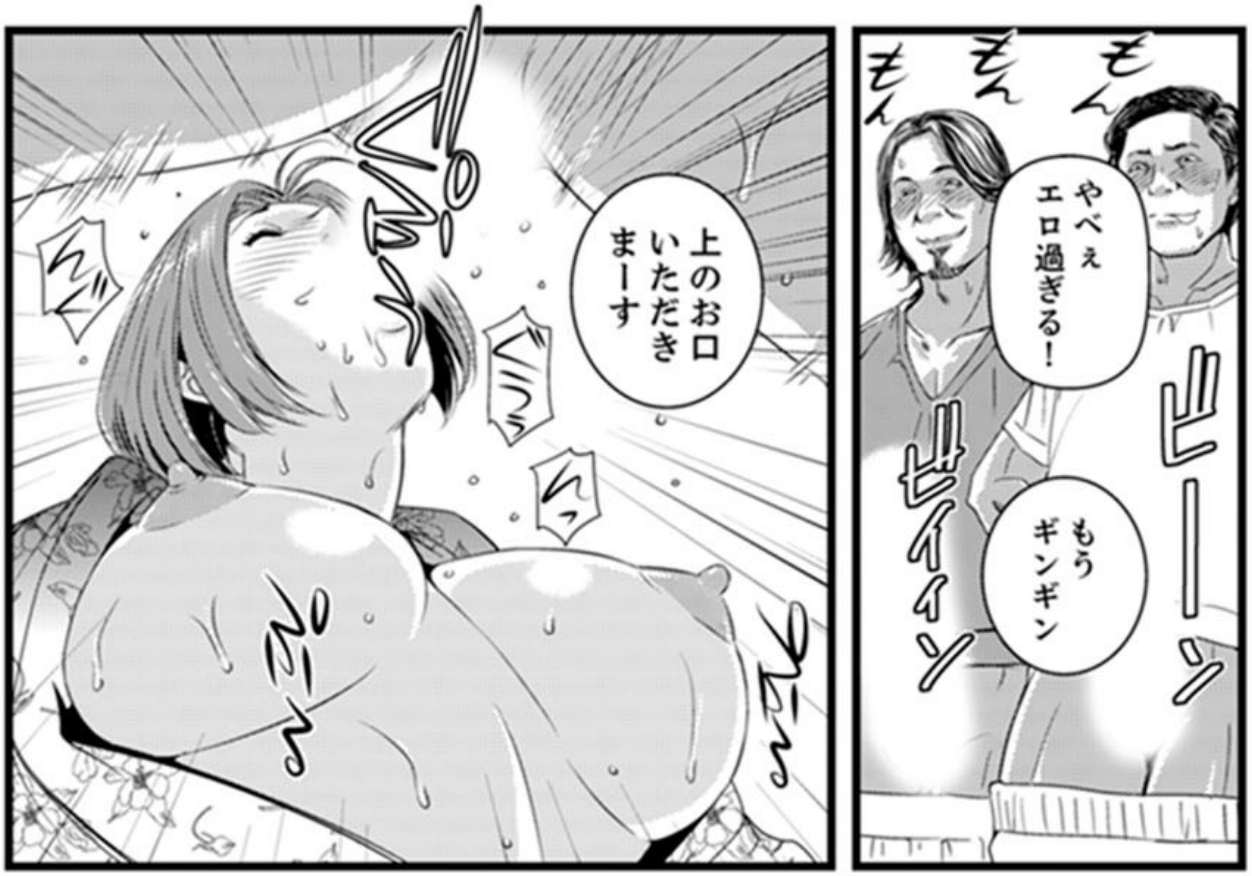
お？
なんだ
なんだ？
あっ！
オーナーさん
じゃないですか
何してるん
ッスか！
助かった！
すみません
警察に
通報を！

え!?

ああ
君達か
どうかね
一緒に？
どどういうこと！

ヒック
ウィ～
ずるいですよ
オーナーさん
自分ばっかり
イイ思いして

いやあっ！
うはあ
こりゃ
ペッピンさん
だあ
やめて！
俺にも
触らせてくれ
吸わせてくれ
うひょう！
ウチのカカアと
違って
もちもちの
白い肌じゃあ！
はふっ！
ああ！
両方なんて！

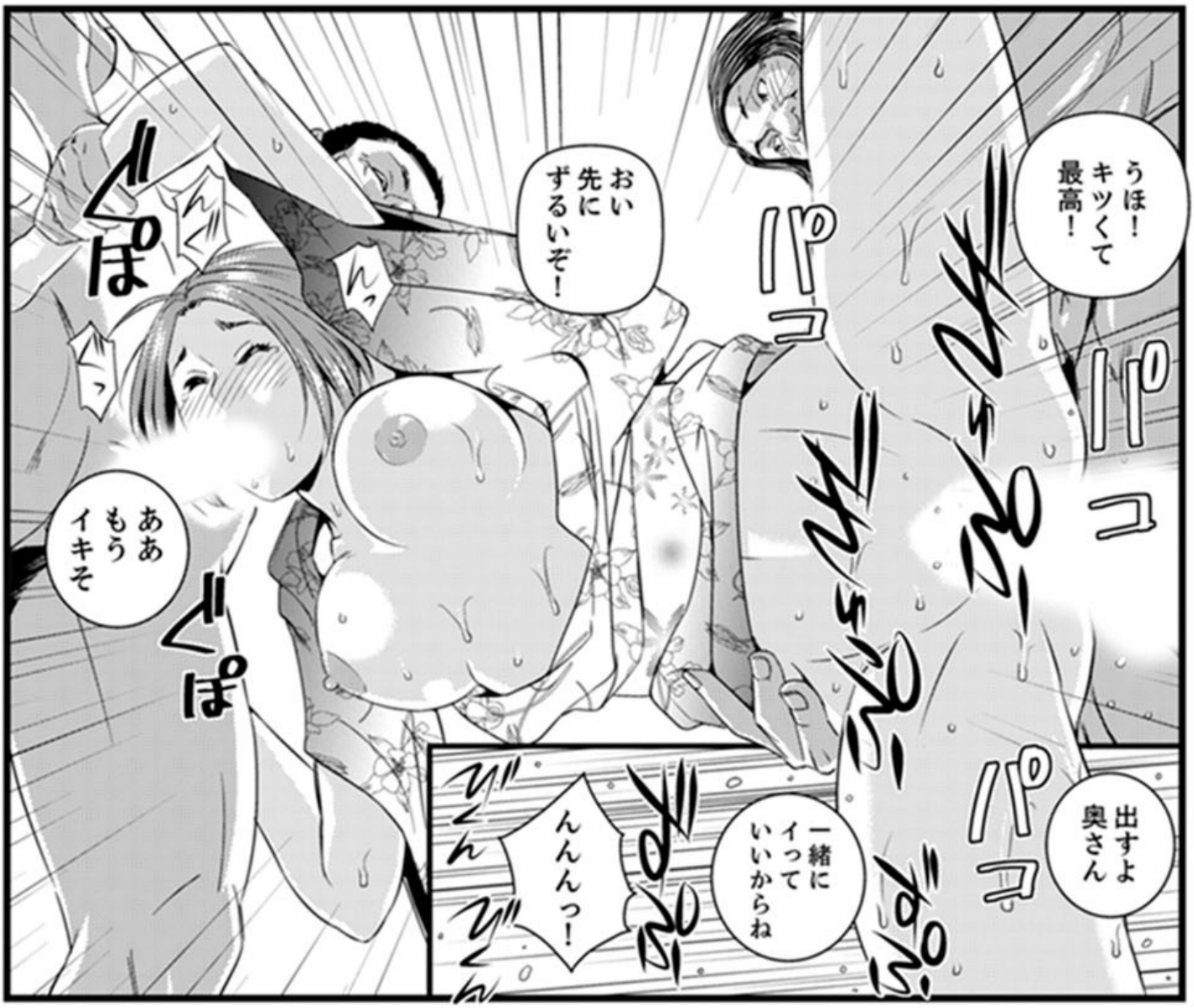

もん
もん
もん
やべぇ
エロ過ぎる！
もう
ギンギン
ビーン
ビィィン
上のお口
いただき
まーす

うは
気持ちいい！
最高の
フ●ラだぁ

こっちも
いい感じに
ほぐれて
きましたよ

奥さん
おいらの
肉棒どうぞ
たっぷり
味わってね
あ――！

お
大きいっ！

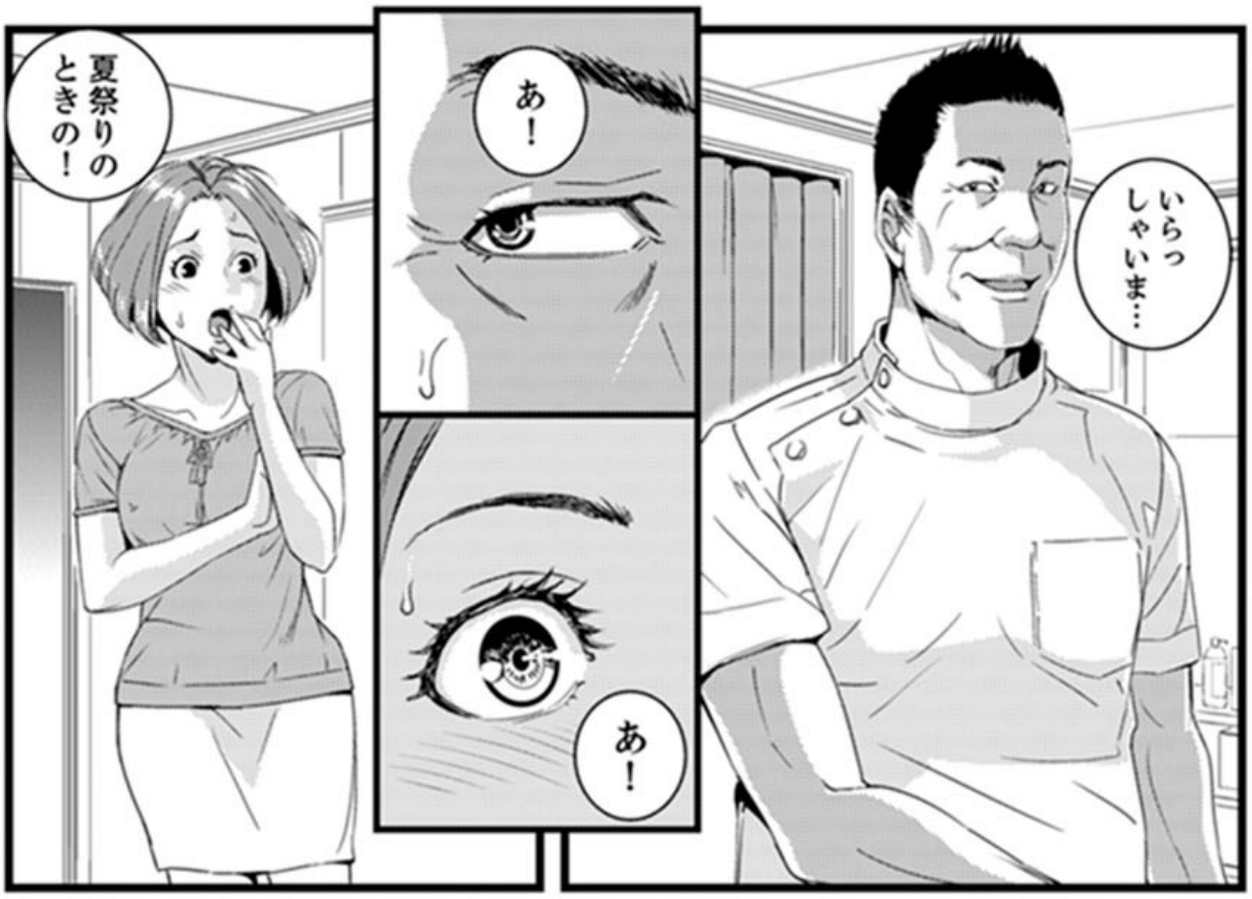

うほ！キツくて最高！
おい先にずるいぞ！
ああもうイキそ
出すよ奥さん
一緒にイっていいからね
んんんっ！
パコ
パコ
ぐぽ
ぐぽ

ううっ！
いっぱい出だぁ！
んぶっ！
ビュビュッ
ビュビュ
どぴゅ

花火大会が始まり夜空を大輪の花が彩る
わたしの絶叫はその音にかき消されてしまう
ドーン
パラパラ

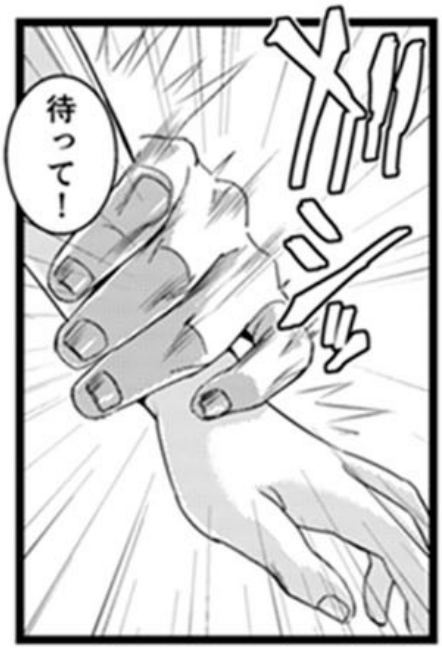
ただいま…
おかえり
遅かったね
もう
最悪…
汗かいちゃったから
すぐお風呂
入るね
パタン
恵子？
でも本当に
最悪なのは
わたしのほう
輪姦されてるのに
何度も何度も
イッてしまった
もう
消えて
しまいたい…

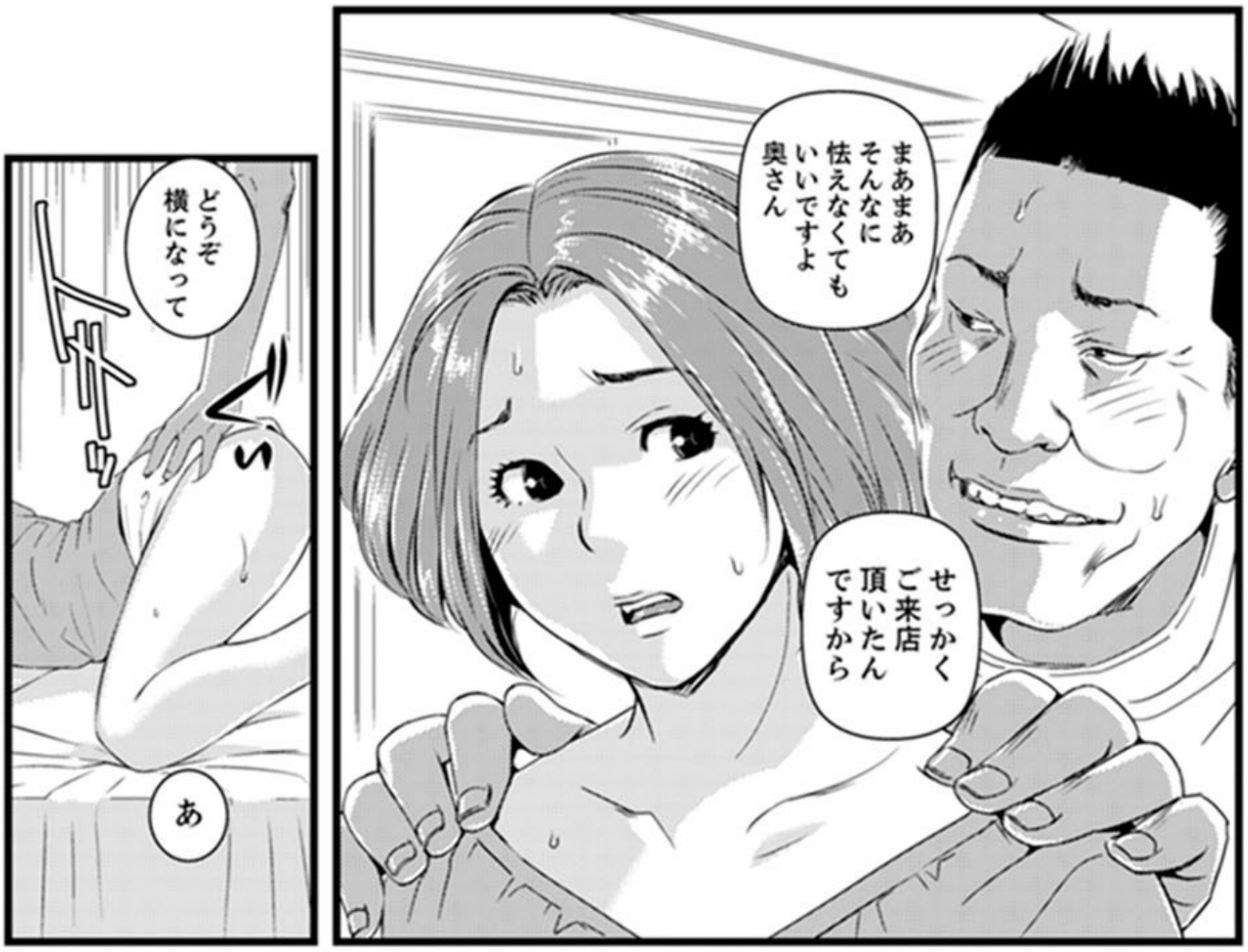
数日後
このところ滅入ることばかりのわたしは
初回お試し50%OFF
会員様価格
30分コース 2000円
60分コース 3800円
90分コース 5600円
120分コース 7300円
初回半額かぁ
少しでも気分転換になればと…
近くにオープンしたオイルマッサージの店に行ってみることにした
こんにちはー予約した松本ですけど
メルトメルーン


いらっしゃいま…
あ！
あ！
夏祭りのときの！

わたしを犯した男達の1人

あの…間違えましたっ！

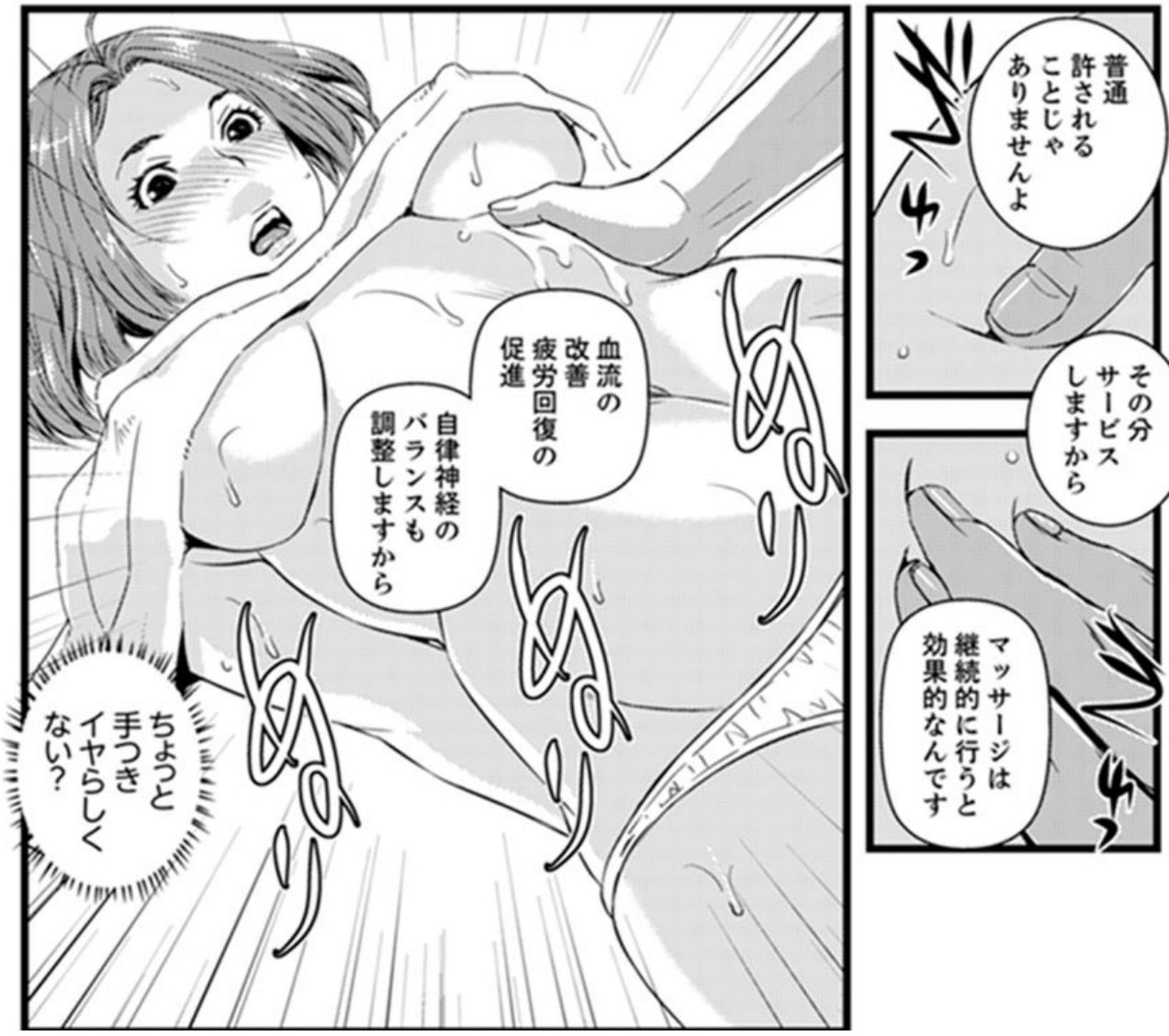

待って！


まあまあ
そんなに
怯えなくても
いいですよ
奥さん
せっかく
ご来店
頂いたん
ですから
どうぞ
横になって
あ

そう
力抜いて
ください
ちょ！

ほら
気持ちいい
でしょう？
あ！

すみませんねぇ
酔ってさえ
なければ
あんなことは
いやあ
本当に
申し訳
ない
もみ
なんなの
これ！
なんでわたし
レイプされた
相手に
マッサージ
受けてるの!?


普通
許される
ことじゃ
ありませんよ
その分
サービス
しますから
マッサージは
継続的に行うと
効果的なんです
血流の
改善
疲労回復の
促進
自律神経の
バランスも
調整しますから
ちょっと
手つき
イヤらしく
ない？

アイマスク着けましょうリラクゼーション効果アップしますよ
あっ
なんか執拗に微妙なところ触ってない？
んっ
だめ！火照っちゃう！
気持ちいいけどちょっと感じちゃうかも
見えないと余計に…
ぜったいその気にさせようとしてる
ウヒヒ
ピーンポーン
奥さんちょっと待っててくださいね
すみません今日は予約でいっぱいで…

あれは
ボクの
オモチャ
だから
ぎゃび！
PLASMA GUARD
ULTRA SLIPPER
HIGH DENSITY
ふう
少し
治まってきた
なめたくなーい
なめたくなーい
なめ

え？
ちょ
ちょっと！
なにをするん
ですか！

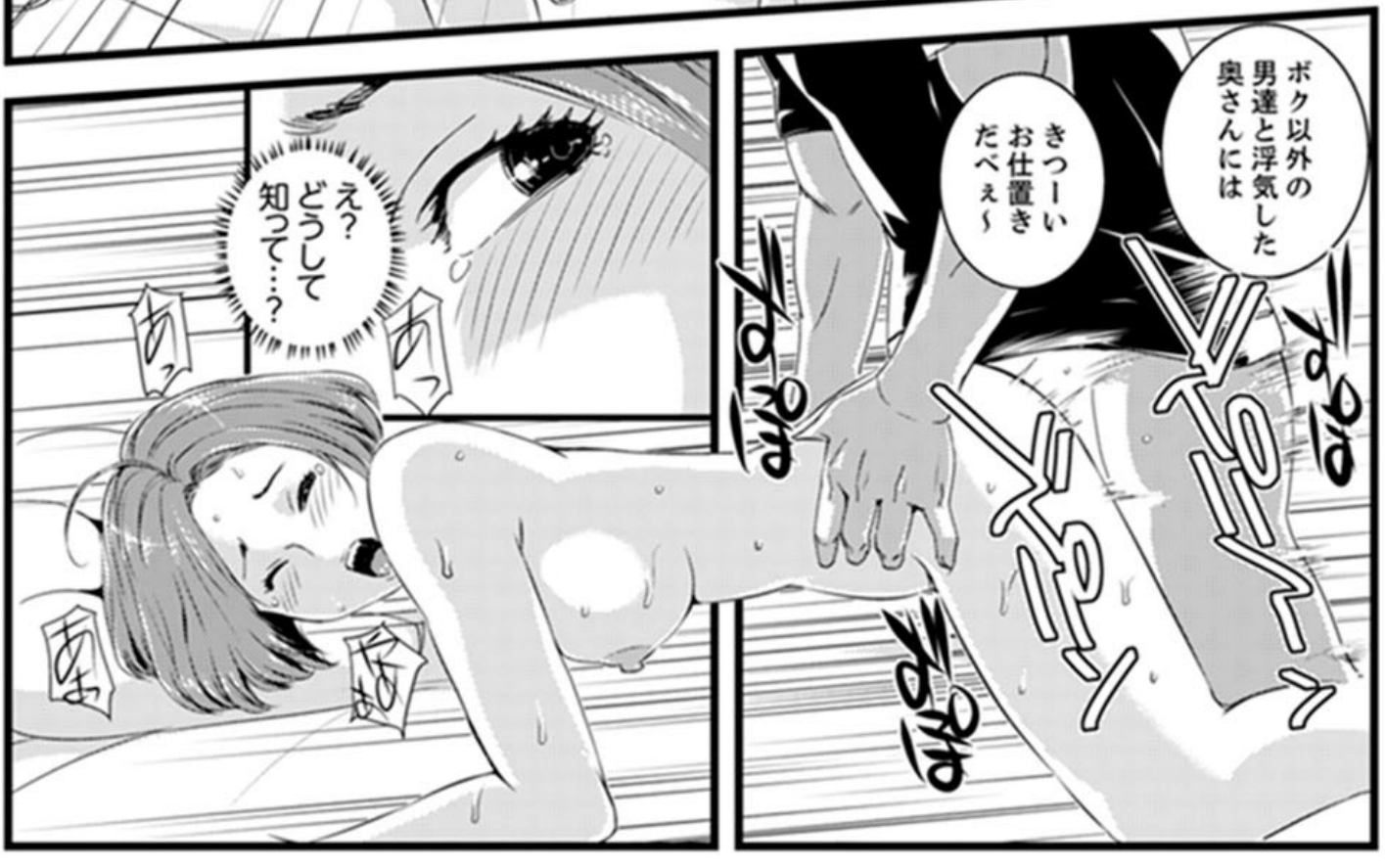
マッサージって
拘束するの？
怖い！
何も
見えない
のに

はあん！
なに？
急に乱暴に
なった！

あっ
だめっ！

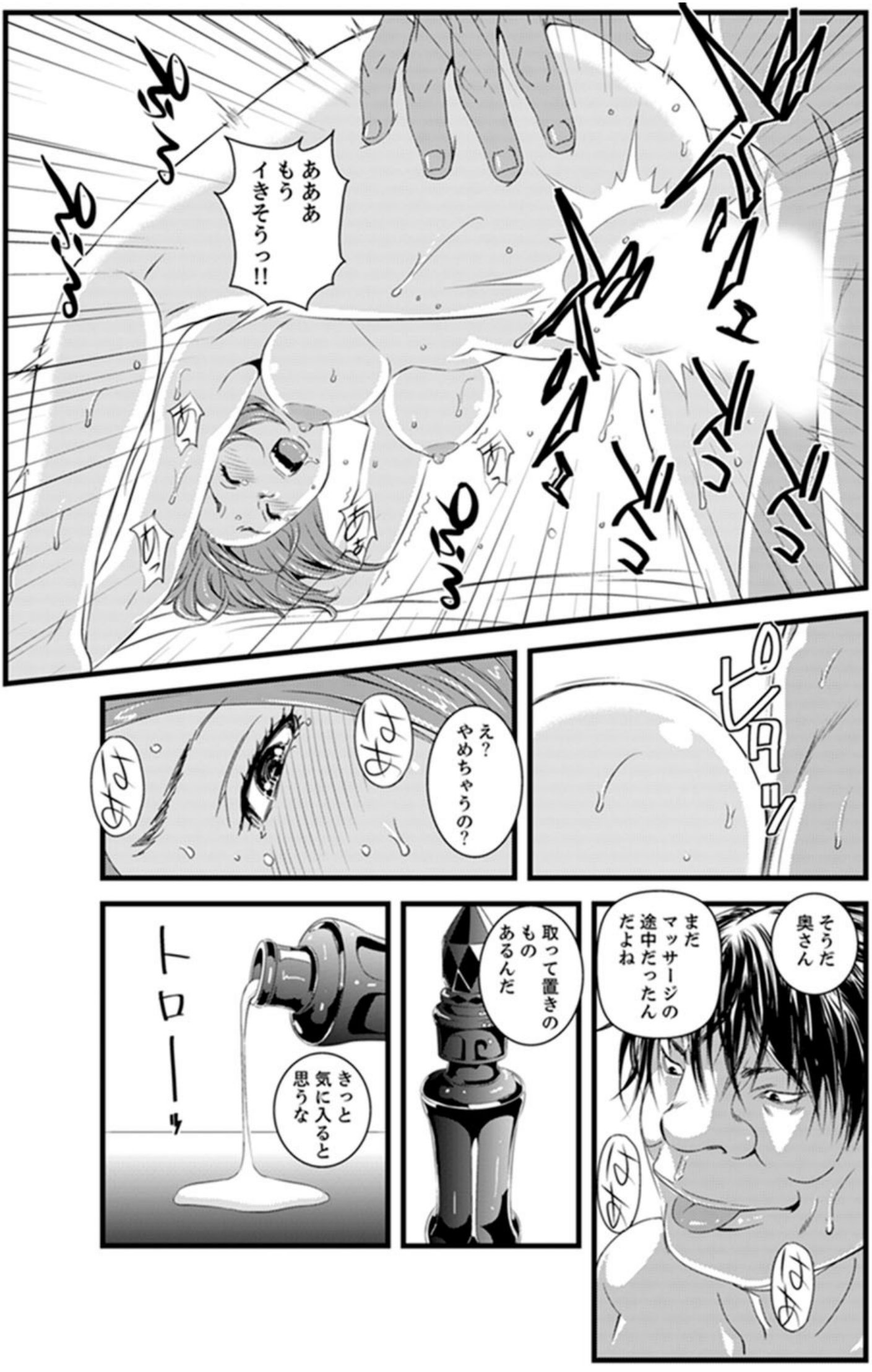
ああああっ！
ひいいっ！
ひどい！
安心させて
おいて
また犯す
なんて！
浮気
したから
お仕置き
だよ
え!?
この
声は！

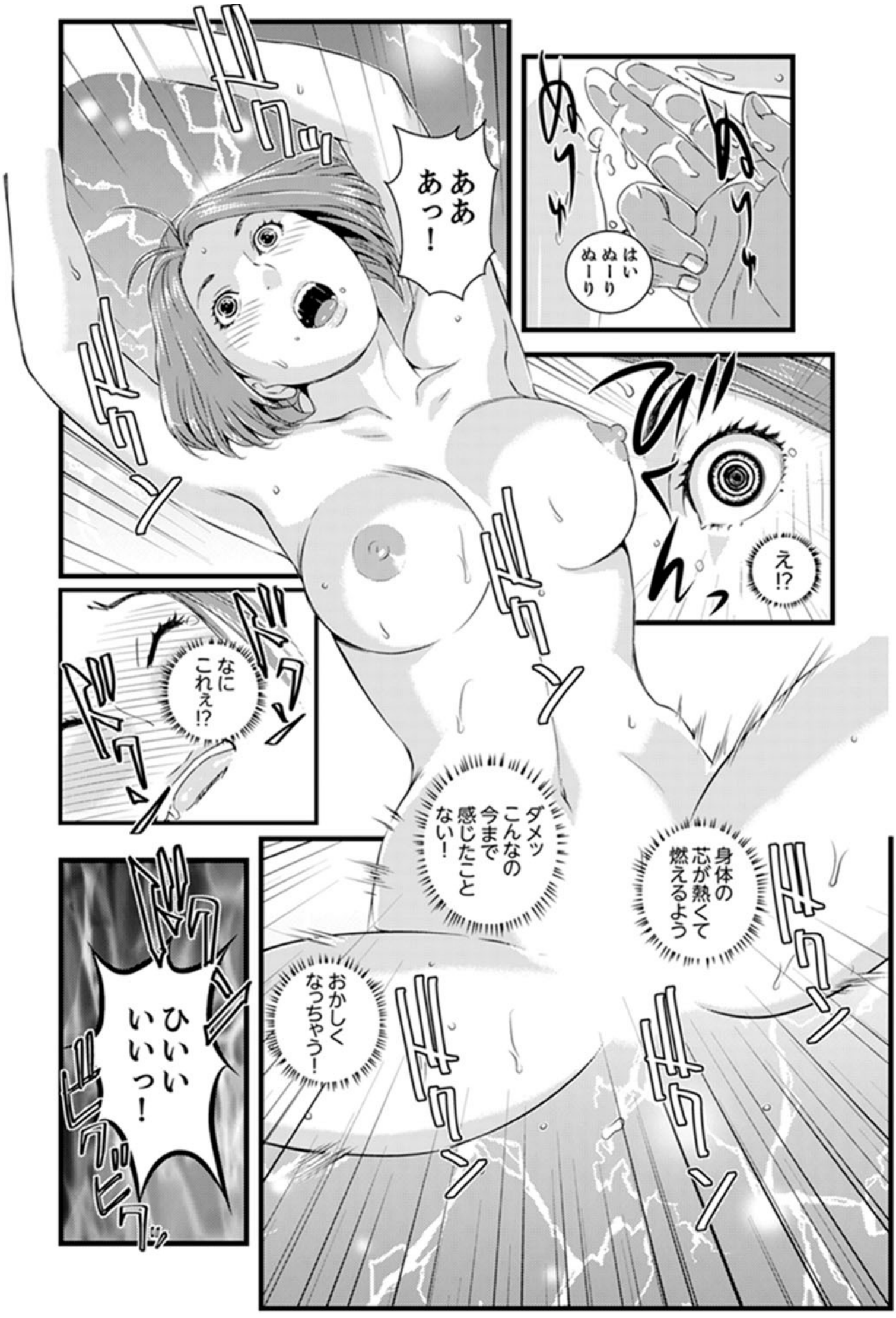
ボクだよぉ
ねえ驚いた？
あっ！あなたは！どうして？


ボク以外の男達と浮気した奥さんには
きつーいお仕置きだべぇ～
え？どうして知って…？

この人に犯されるのは何度目だろう
様々な責めでわたしの反応を確かめ どこが感じるのか暴かれてゆく

そして何度も犯されているうちに
お互いの身体は馴染んでいく


そうだ
奥さん
まだ
マッサージの
途中だったん
だよね
取って置きの
ものが
あるんだ
きっと
気に入ると
思うな
トローー
え？
やめちゃうの？
ああああ
もう
イきそうっ!!


はいぬーりぬーり
ああああっ！
え!?
なにこれえ!?
ダメッこんなの今まで感じたことない！
身体の芯が熱くて燃えるよう
おかしくなっちゃう！
ひいいいいっ！

はあ
ねこの薬気持ちいいでしょ？
はあ
ぐぐっ
全部ぶっ飛んじゃうよ
ほーら！快感倍増！
うひいいいっ！
イクっイグっまたいぐぅぅぅっ！
あひっ！あひぃ！もっと激しく犯してええええっ！
元気へ導く極上マッサージ

わたしの意識は
快楽の深い闇に落ちていった
ん？なんだ？何か？用か？
ジャリ
？
ひっ！

ん…
おはよう
はっ
昨夜
どうやって
帰って
来たんだろう
あれは
夢…じゃ
ないわよね
ほっ
恵子が
飲みすぎる
なんて
珍しいね
コト

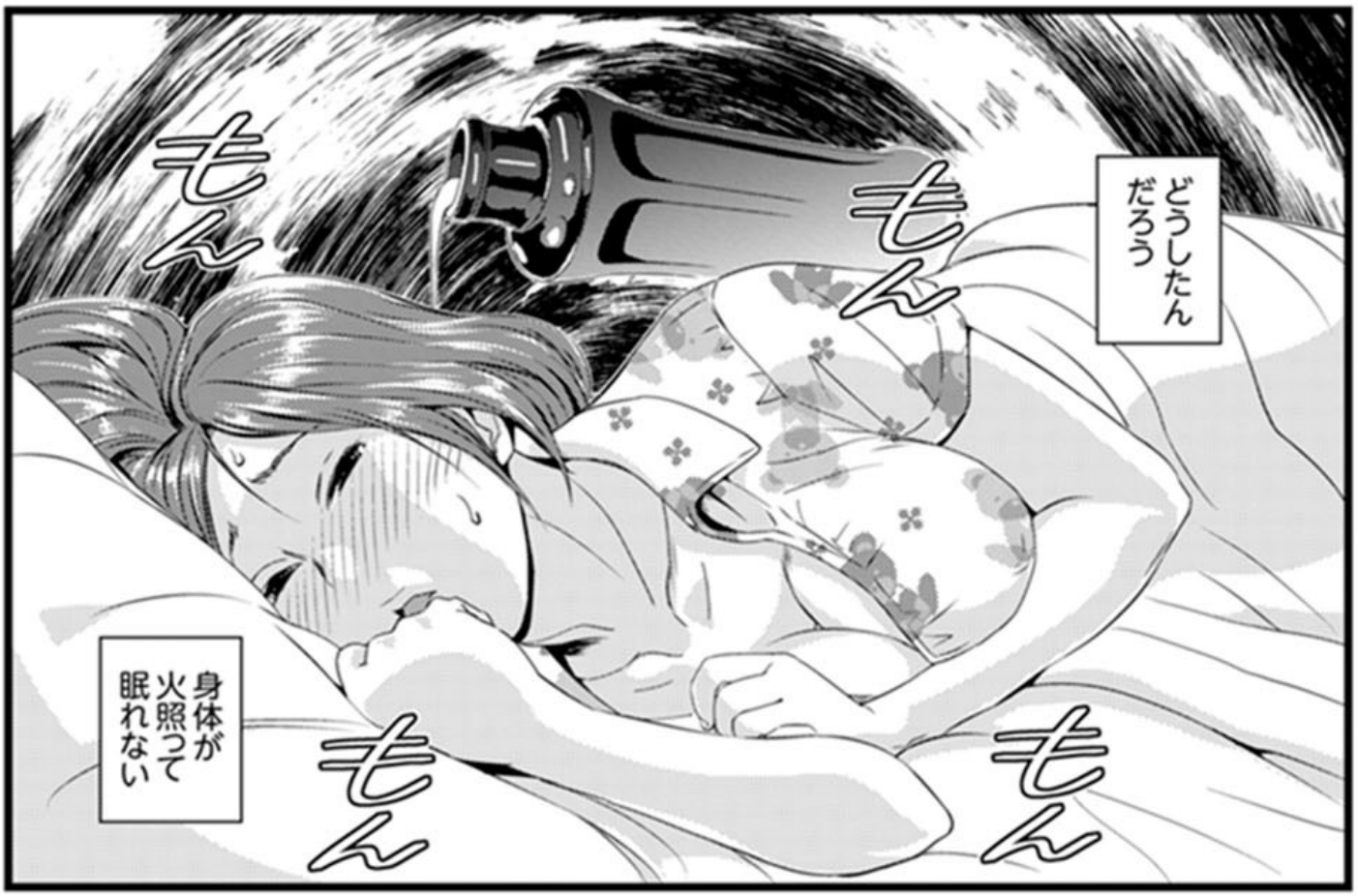
邦夫さんには
まだ
気付かれてない
みたいだけど
どう
しよう…
どんどん
深みに
はまってゆく
気がする
おはようございます

そういえば
奥さん
知ってます？
昨日
この団地で
4人も
襲われた
ですって
怪我は
たいしたこと
無いんだけれど
頭がちょっと
おかしく
なっちゃって
るそうよ

なにそれ
怖い
それが
オーナーさんと
マッサージ師の…
え？

わたしを
犯したあの
4人

どういう
ことなの？


どうしたんだろう
もん
もん
もん
身体が火照って眠れない

ねえ邦夫さん邦夫さん
んーもう食べられないよ

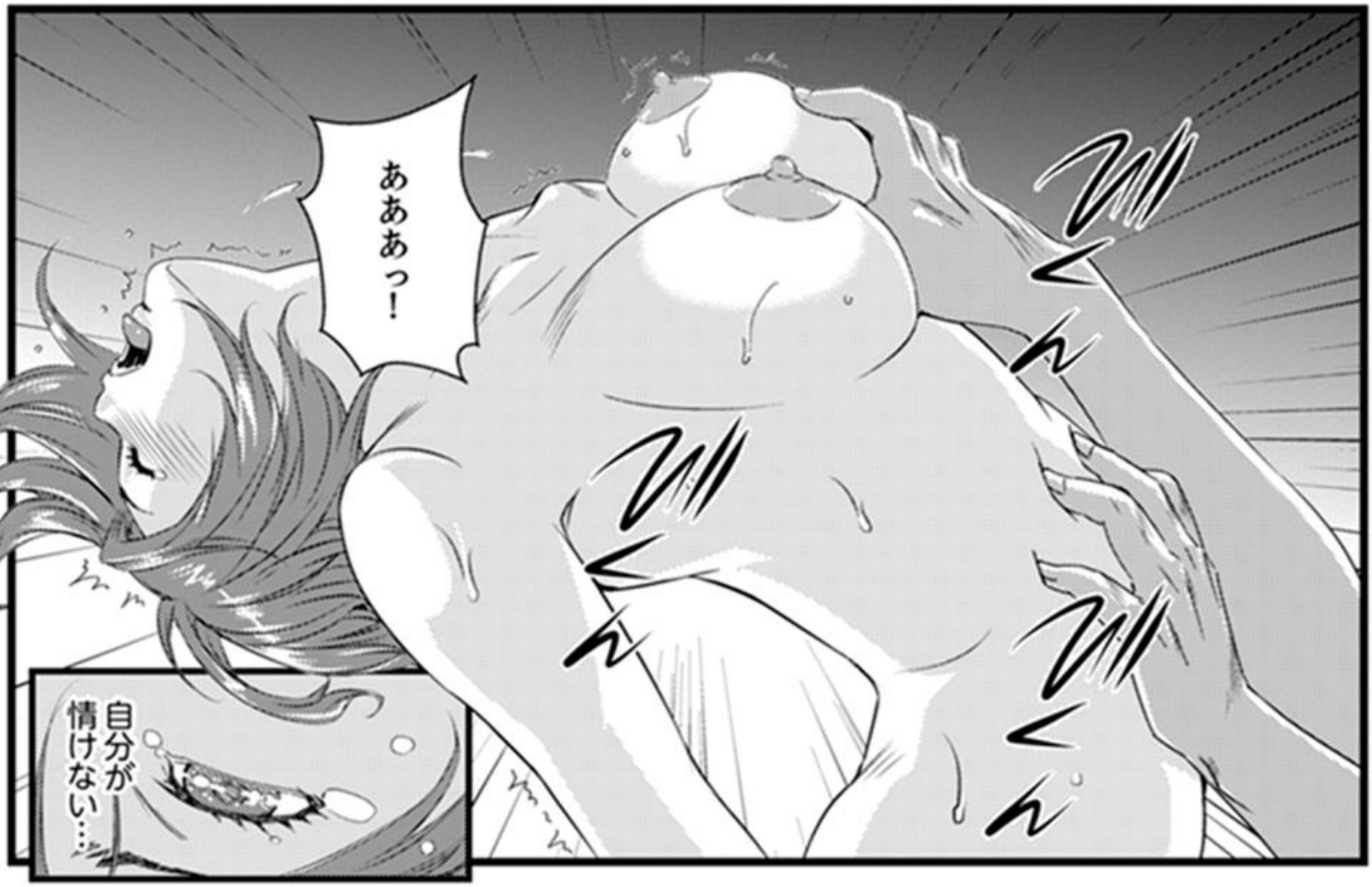
305
土屋
ギギィ
きっとあのおかしな薬のせいだわ
ハタン
スッ
んもう…
してよ…

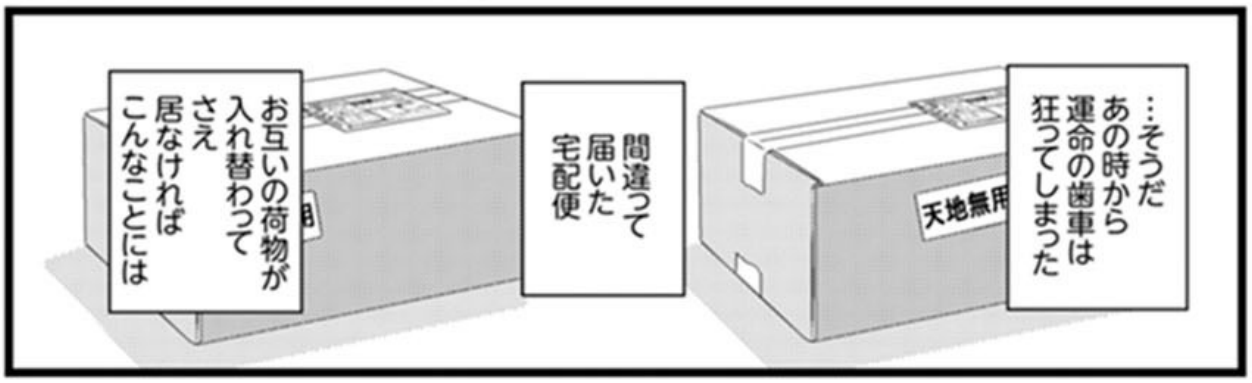
やっぱり来てくれたね
クク
もうボクなしでは生きていけないんだよ
ふざけないで!
いったいわたしに何をしたの!
はあ
はあ
ねっとり絡みつく視線
下半身が疼く
ああもう立っていられない
ドクン
ドクン
ドクン
ボクのことが好きなんでしょ
だ…誰があなたのことなんか!
はあ
はあ
またまたぁ
奥さんツンデレなんだから

ほーら
こうして
欲しいくせに
もみ
あっ
ちが…う
やめて…
もみ
クリ
クリ
満足に
抱いてくれない
旦那さんより
ボクのほうが
大事にして
あげられるよ
奥さんの
望みを叶えて
あげる
だってボクは
あなたの
白馬の王子
だから
さあ
本音を
言ってごらん
どうして
欲しいのかな
もうわたしに
近寄ら…
んー?
わ…
わたしの
この
火照りを
鎮めて
お願いいっ!

じゃあ
ご奉仕して
もらおうか
ボロン
ああ…
この疼きを
癒してくれる
おぞましい
モノ！
ドクン
ドクン
ぺろ
ぺろ
ぺろ
自分から
しゃぶり付いて
きたね
いいよ
奥さん
最高だ
クニ
クニ
クニ
もうっ
焦らさないで
お願いい！

おっけーい！
あ
あ
あっ
あっ
レロ
レロ
たっぷり
その顔
見せてもらう
からね
ああっ
また来る
来ちゃうぅ！
りーん
きゃふぅ！
一気に
達したん
だね
かわいい
かわいい


ああああっ！
自分が情けない…


…そうだ
あの時から
運命の歯車は
狂ってしまった
天地無用
間違って
届いた
宅配便
お互いの荷物が
入れ替わって
さえ
居なければ
こんなことには

ほんの些細な
偶然から
わたしは…

偶然だと
思ってるの？
え？

だって荷物を
すり替えたのは
ボクだから
キャー

意図的に
荷物が
すり替えられて
いた？
そういえば
この人は
SEXレスの
ことも
私が
輪姦された
ことも
知っていた

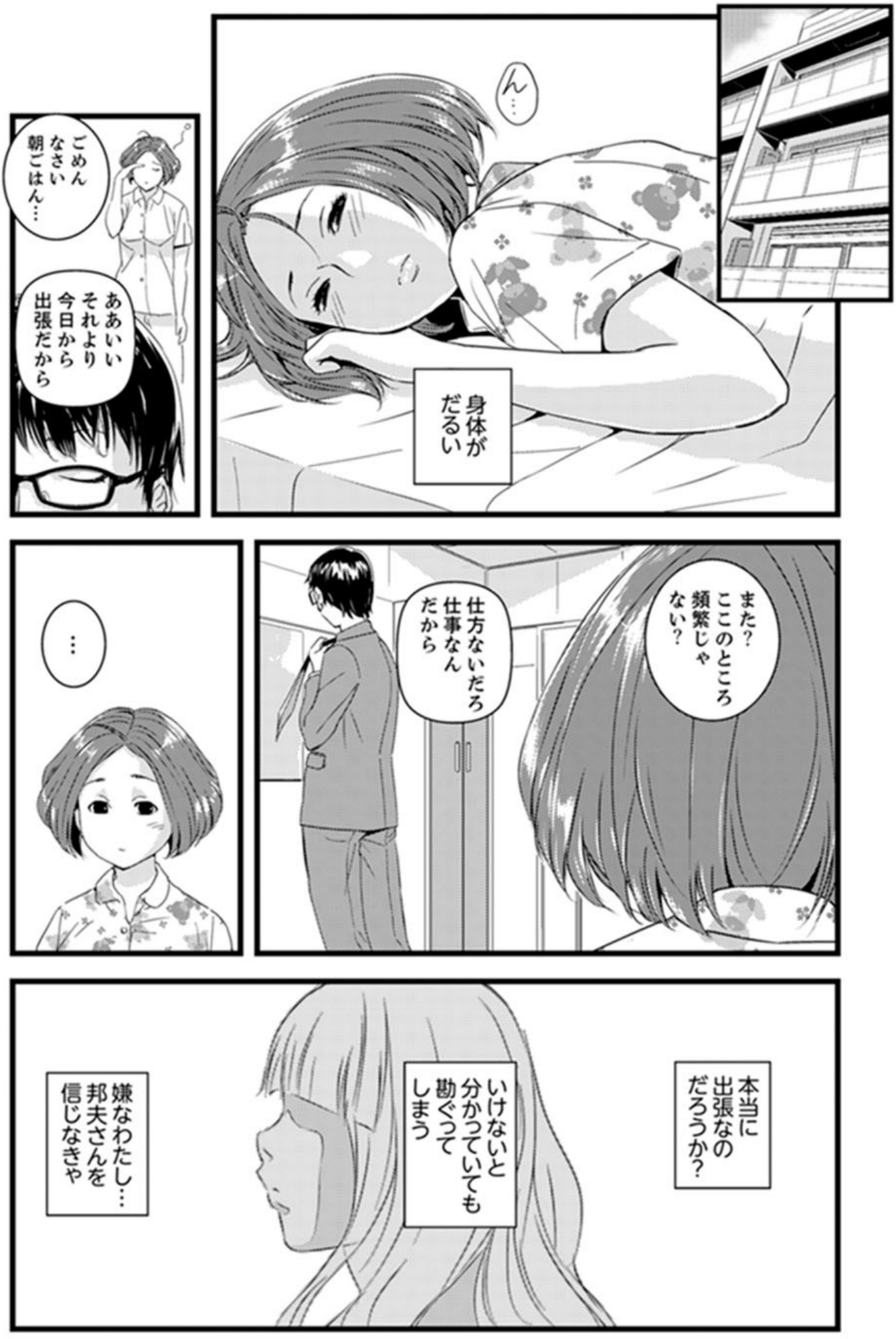
ずっと
見られてた!?
聞かれてた!?

なんて
こと！
ガク
ガク
ガク

最初から
この人の
策略だった！

今朝の主婦達の噂話
4人も襲われたんですって
まさかオーナー達を襲ったのは…
はぁぉ
さあ知らないなあ
ボクのものに手を出すから〝天罰〟が下ったんじゃない？
パン
パン
ズッ
ズッ
ズッ
あっ
あ
あ
天罰
天罰…
あれは天罰
この人頭がおかしい！
助けて！
このままではわたしもおかしくされてしまう！

はいまた
気持ちよく
なる薬
塗ってあげる
からねぇ
イヤ！
それ塗られたら
おかしく
なっちゃうから
ダメぇ！
ああああっ！
ぬりぬり
ぬりぬり
ぬりぬり


ん…
身体がだるい
ごめんなさい朝ごはん…
ああいいそれより今日から出張だから
また？ここのところ頻繁じゃない？
仕方ないだろ仕事なんだから
…
本当に出張なのだろうか？
いけないと分かっていても勘ぐってしまう
嫌なわたし…邦夫さんを信じなきゃ

亜希子のマンション
亜季ちゃん出すよっ！
いっぱい中に出してぇ！
はぁ
はぁ

ううっ！
ああん熱いぃ！どくどく来るぅ！

きゃはは！

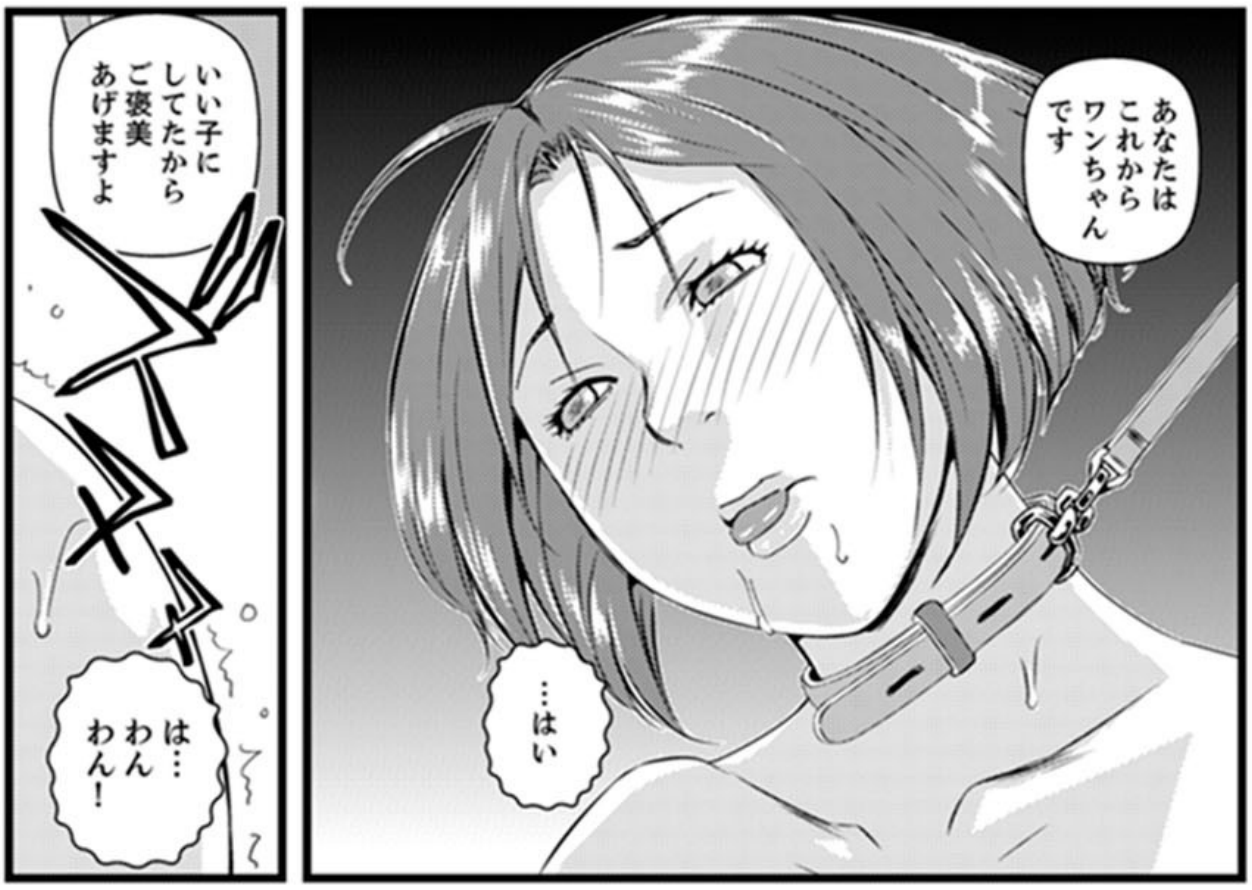
恵子は多分俺たちのこと気付いてる

…なあもうこういうのやめないか？
なによ今更怖気づいたの？
No.5
CHANNEL
parfume

うふふ
そうね
ココは
恵子のもの
ココは
私のもの
お…
おい！
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
もう…
帰ってください
お願いします…

なに言ってるの？
今日から一週間ボクが旦那さんだよ
は…外して下さいこれ…
だめだめ奥さんが買ったものじゃないか
ほおら
ああっ！
邦夫さんの出張を見越したように
この人は家に居座った
おなか空いたな
愛する旦那さんのために料理を作ってよ

後ろから支えてあげるね
お手伝いお手伝い
あああっ！
だめぇ包丁が震えちゃう危ないから抜いてぇ
なに料理は苦手なの？
しょうがない奥さんだなぁ
ほーれ応援応援
がんばれ～がんばれ～

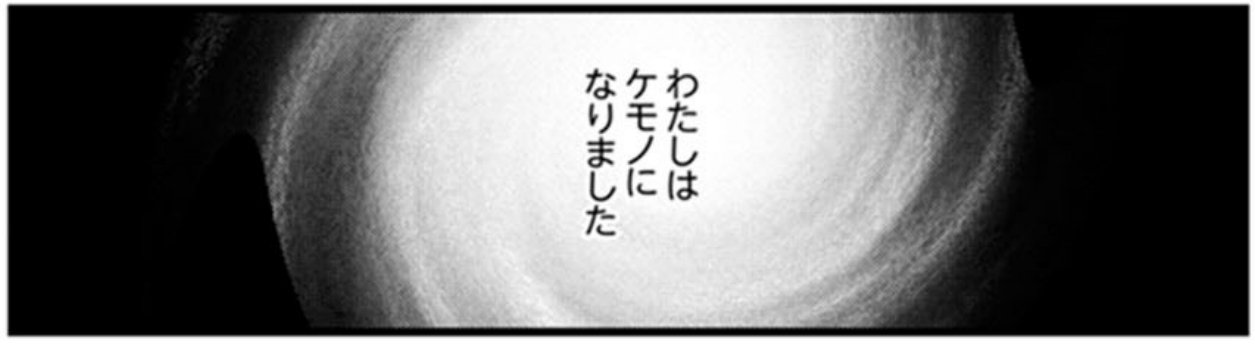

あなたは
これから
ワンちゃん
です
…はい
いい子に
してたから
ご褒美
あげますよ
は…
わん
わん！

ギチチ
あっ

何をしても
アクメ
するように
なったね
奥さん

もっと
叩いて！
あっ！
いっ
もっと
ワン
ワン！

何度も
媚薬を
塗られ
様々な
犯され方を
しているうちに
だんだん
気持ちよく
なって
嫌悪感も
羞恥心も
薄れてゆき
また
出すぞ
牝犬っ！
はひっ！
ありがとう
ございます！
たくさん
出して
ください
ご主人さまぁ！
あひいいいっ！


わたしは
ケモノに
なりました

心を開放することのなんと素晴らしいことか
XXXXXXXX
卑猥な言葉を吐き乱れ狂う醜悪な姿
XXXXXXXX
でもそれがわたしの本性なのかもしれません
こんなわたしが幸せな家庭を夢見るなんて間違っていたのです
あ
もっと…だっ…
あぁ
いぃっ
そういえばなぜ邦夫さんと結婚したんだっけ？
邦夫さんでなくてもよかったんじゃないの？
二人で買ったマンション幸せな愛の巣になるはずだったなのに…
あ
あぁ

だけど
そんなことは
もう
どうでもいい
本当の
幸福とは何か
やっと理解
できたから
なんだまだ
欲しいのか
おまえは
イヤらしいな
恵子
ハイ

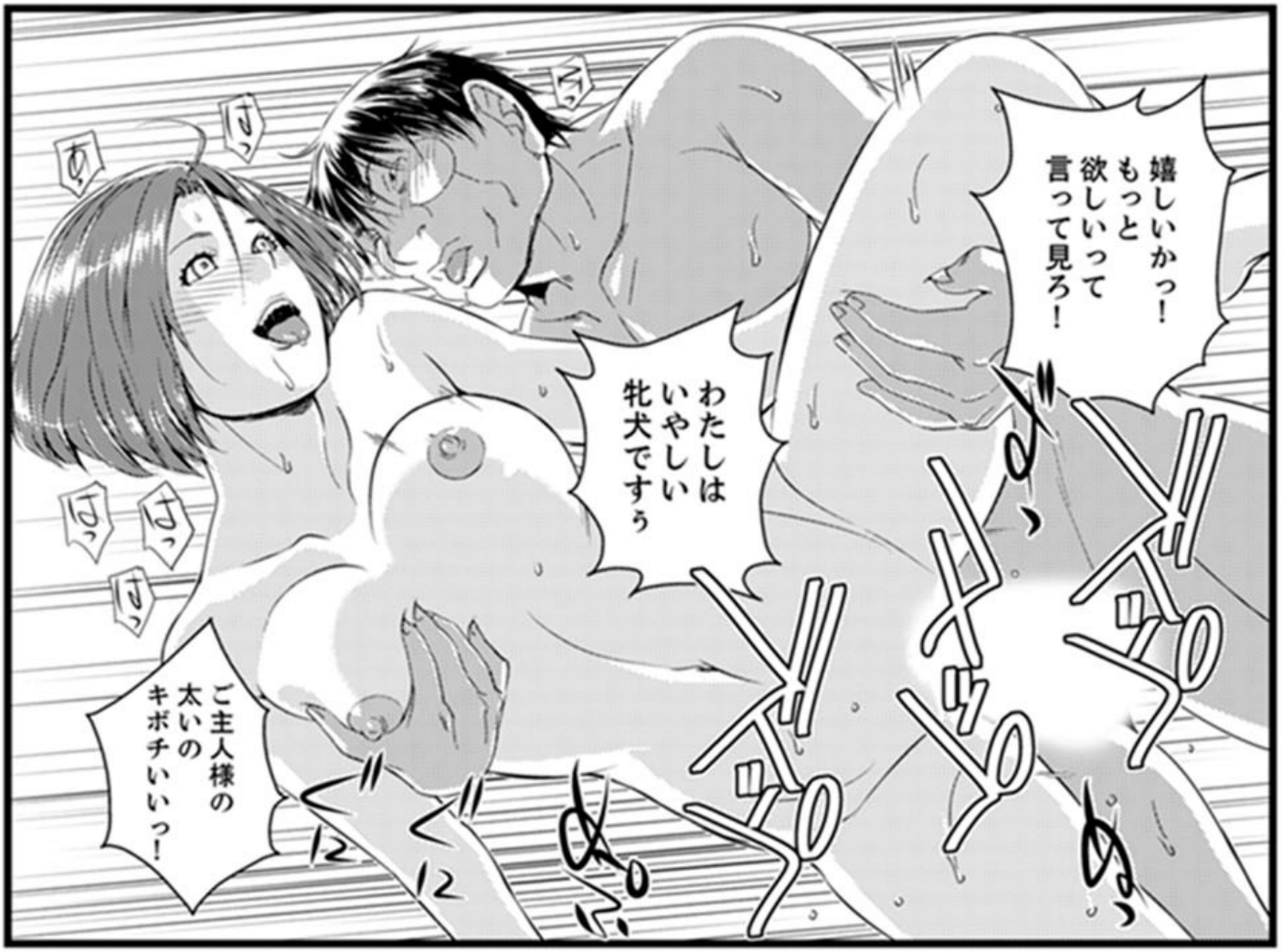
あっ
あっ！
また
イッちゃった
たぁ
ありがとう
ございます
ご主人様
モット
わたしを
犯して
クダサイ
ボクの
ビュビュビュー
ビュ
ビュッ
モット
満たして
クダサイ

わたし
シアワセ
です
ウフウ
フフ

一週間後
ただいま

あのさ
ちょっと
今まで
仕事にかまけ
すぎていたと
思うんだ
今度二人で
温泉にでも…
お帰り
なさい
アナタ
恵子？
？
ちょっと
恵子!?
うっ！
あっ！
どうしたんだ
恵子
今日はやけに
積極的…
うっ！
あっ！

こんな夜中にどこにいくんだ？
コツ
コツ
お隣りさん？
305 土屋
俺に
またがって
激しく
腰を振る…
誰だ？
この女は!?
恵子？

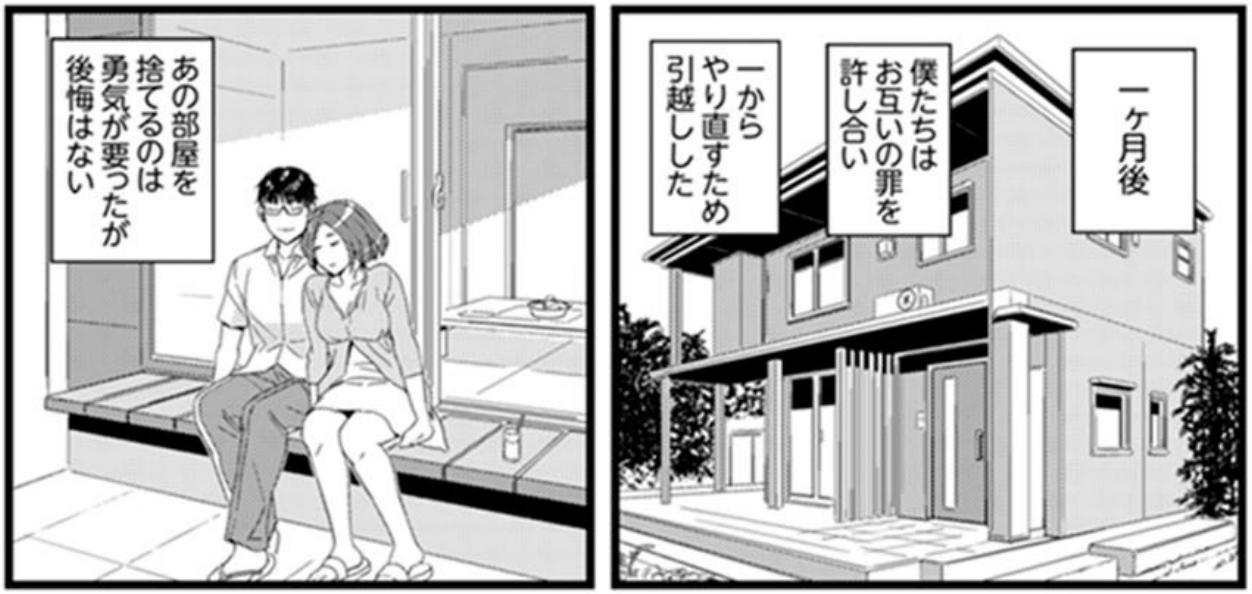

嬉しいかっ！
もっと
欲しいって
言って見ろ！
わたしは
いやしい
牝犬ですぅ
ご主人様の
太いの
キボチいいっ！

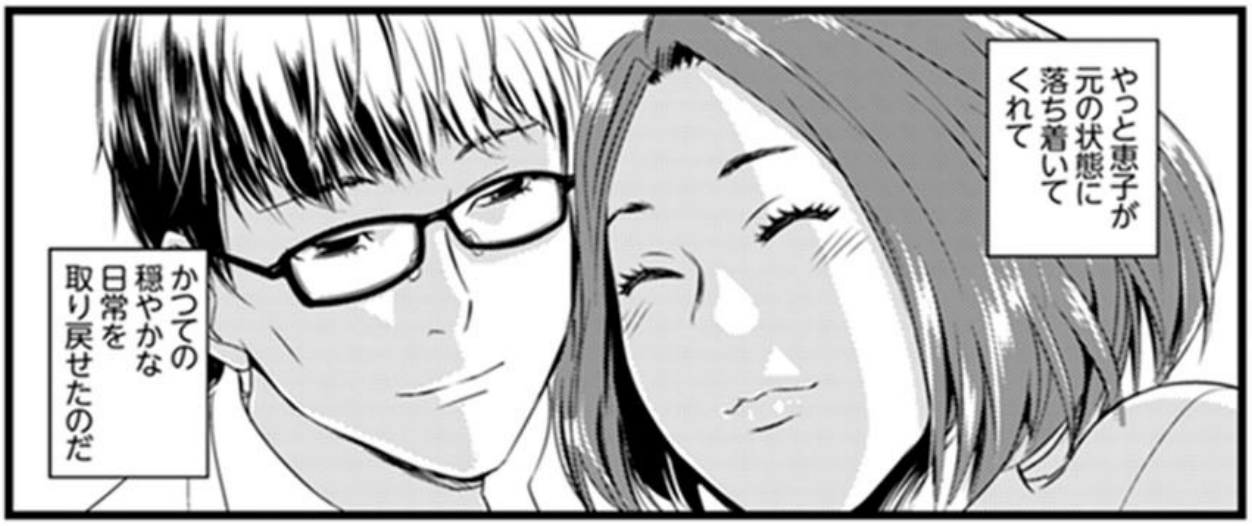
もっと
もっと
ご褒美
下さいぃ！
恵子…

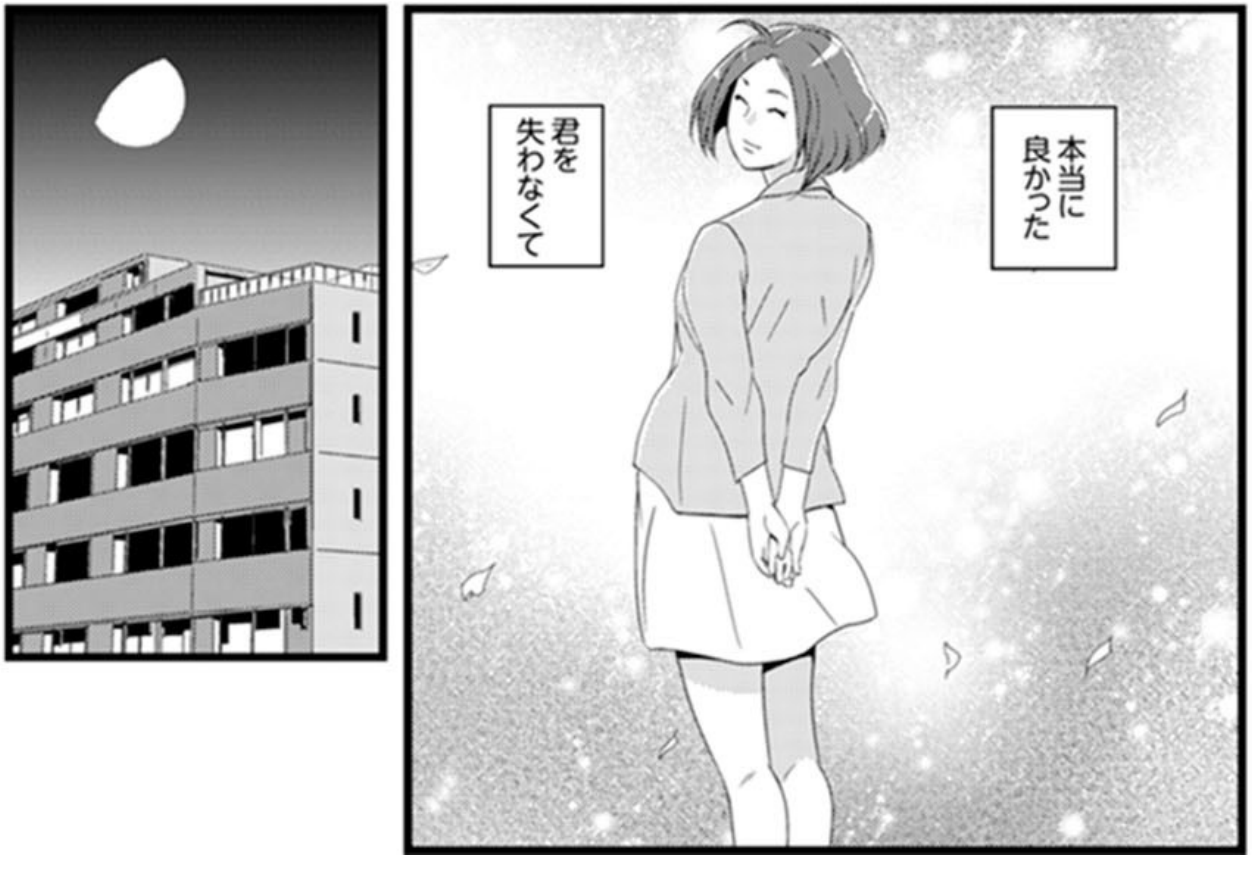
おいっ！
これは
どういう
ことだ！
恵子から
離れろ！
ん〜
あ
あ
あ
このやろう！
あっ！
ぐうっ！
残念
でした
あんたが
他の女と
乳繰り合って
いたおかげで
この人は
ボクが
もらっちゃった
よ
PLASMAGUARD
SUPER ULTRA
HIGH POWER

ズンッ
ラ…
ああ
いい…
け
恵子…
ううっ！
ズンッ
ズンッ
ズンッ
いいのぉ！
おちんぽ
最高なのぉ！
わたしったら
おばかさん
欲しければ
こうすれば
良かった
だけなのに
ラ…
あ
ラ…
ラ…
ラ…

邦夫さん
どうして
泣いてるの？
大丈夫
わたし今
とっても
シアワセなの
ウフフ
ダメだ！
もう
イキそう！
ああ
また
イクっ！
さあ
みんなで
天国へ
うぐぐぅ！
イク
でる
イク
でる
うあぅ
ううっ！
あひぃ
あああっ！
うひぃ
ぐふぅ！
果てしなく
続く
魔宴
魂すらも
搾り取られる
ような性交
ああ
恵子…


一ヶ月後
僕たちは
お互いの罪を
許し合い
一から
やり直すため
引越しした
あの部屋を
捨てるのは
勇気が要ったが
後悔はない


やっと恵子が
元の状態に
落ち着いて
くれて
かつての
穏やかな
日常を
取り戻せたのだ


本当に
良かった
君を
失わなくて

カタ
カタ
カタ
カタ
ガチャ
キィ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ご…
ご主人様…
また
可愛がって
ください…
おかえり
イイ
クチュ
クチュ
クチュ

ドキドキの数だけ
エッチがある

かわいい女の子に心も体も満たされて…♥

Hな大人のための電子コミック
エロマンガ島
新作・人気作が大好評配信中！

奥までずっぽり！疼く人妻
～あぁっ、こんなにイクの初めて…
【完全版】

発行日　2019年 2月 1日

著者　市井時計

発行　モバイルメディアリサーチ

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

© 市井時計 2019